

# デジタルプリント システム

---

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## UPX-2000

# 安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。  
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

46～47ページの「本システムの性能を保持するために」も併せてお読みください。

## 定期点検を実施する

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買上げ店またはソニーのご相談窓口にご連絡ください。

## 故障したら使わない

すぐに、お買上げ店またはソニーのご相談窓口にご連絡ください。

## 万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ➔
- ① 電源を切ります。
  - ② 電源コードや接続コードを抜きます。
  - ③ お買上げ店またはソニーのご相談窓口までご相談ください。

### 警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号



注意



火災



感電

### 行為を禁止する記号



禁止



ぬれ手禁止



分解禁止

### 行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



アース線を接続せよ

対象機種：デジタルスチルカメラ DKC-2050X

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

△警告	4
△注意	5
電池についての安全上のご注意	7
使いかた早分かり	8
<b>使用する本システムの構成</b>	8
<b>購入する必要のあるもの</b>	8
<b>準備</b>	8
<b>操作</b>	10
本システムの特長	11
<b>主な構成例</b>	11
<b>本システムで作成できるプリント画</b>	12
各部の名称と働き	13
<b>カメラ</b>	13
<b>ステーション</b>	16
<b>プリンター</b>	17
準備	19
<b>カメラの準備</b>	19
<b>プリンターの準備</b>	23
<b>接続する</b>	30
操作	33
<b>撮影する</b>	33
<b>撮影した画像を再生する</b>	36
<b>9画面マルチ再生をする</b>	36
<b>画像を消去する</b>	37
<b>消去を禁止する(プロテクト)</b>	39
<b>プリントする</b>	40
プリント画の画質を調整する - メニュー操作	42
<b>項目を設定し、設定値を登録する</b>	42
<b>調整</b>	46
<b>カラーガイド機能</b>	47
本システムの性能を保持するために	50
<b>カメラ</b>	50
<b>プリンター</b>	51
<b>お手入れ</b>	51
主な仕様	52
故障とお考えになる前に	54
<b>つまった紙を取り除く</b>	58



下記の注意を守らないと、**火災や感電により死亡や大けが**につながる可能性があります。



### 電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間にはさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご依頼ください。



禁止

### 雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

この取扱説明書に記載されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご相談ください。



分解禁止

### 内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたなどを開けたり、改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理は、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

### 分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電の原因となることがあります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

### 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

### 不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



下記の注意を守らないと、  
けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



ぬれ手禁止

**ぬれた手で電源プラグをさわらない**  
ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



注意

**接続の際は電源を切る**  
電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



注意

**付属の電源コードを使う**  
付属の電源コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。



アース線を  
接続せよ

**安全アースを接続する**  
安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。  
安全アースを取り付けることができない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

**製品の上に乗らない、重いものに乗せない**  
倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



注意

**お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く**  
電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



注意

**移動させるときは電源コード、接続コードを抜く**  
接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

**本体内部に手を入れない**  
ドアが開いている時に本体内部に手を入れると、けがや、やけどの原因となることがあります。



禁止

**インクリボンカートリッジの装着口の内部に手を入れない**  
中にあるプリントヘッドが熱くなっている場合があり、やけどの原因となることがあります。



注意

**指定された電源アダプター、接続コードを使う**  
取扱説明書に記されている電源アダプター、接続コードを使わないと感電や故障の原因となることがあります。



注意

**移動の際は、カメラをステーションからはずす**  
ステーションに取り付けたままカメラを持ち上げると、ステーションが落下して手や足の上に落ち、けがの原因となることがあります。



注意

**カメラの接点には素手で触れない**  
カメラの接点に素手で触れると、けがの原因となることがあります。



注意

**指定された機器以外は接続しない**  
指定以外の機器を接続すると、故障の原因となることがあります。



注意

**カメラを取り付けるときは十分注意する**  
落下させて、けがや故障の原因となることがあります。



**注意**

下記の注意を守らないと、  
けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



注意

カメラ取り付けネジは適度な力でしめる

ネジの締めかたがゆるいと、落下することがあります。



禁止

指定以外のACパワーアダプター /  
チャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でACパワーアダプター /  
チャージャーをさわらない

感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは電源コードをはずす

長時間使用しないときは電源コードをコンセントから抜き、バッテリーをはずして保存してください。火災の原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。



禁止

通電中のACパワーアダプター /  
チャージャー、充電中のバッテリー  
や製品に長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

ACパワーアダプター / チャージャーを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変型したり、火災の原因となることがあります。

# 電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をお確かめください。  
種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池ニカド(Ni-Cd)

ニッケル水素(Ni-MH)

リチウムイオン(Li-ion)

鉛(Pb)

乾電池

アルカリ

マンガン

ボタン型電池

リチウムなど

## ⚠危険

(この項目は充電式電池のみに適用となります)

指定された充電器以外では充電しないでください。  
火の中に入れてください。電池の、+と-端子を金属などでショートさせたり、分解、加熱したりしないでください。コイン、ヘアピン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。  
リチウムイオン電池は、火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしないでください  
充電式電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけたりしないでください。  
水、雨水、河水などでぬれたままの電池を充電したり、使ったりしないでください。  
電池内部の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

## ⚠警告

ボタン型電池は幼児の手の届かないところに置いてください。  
万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。  
乾電池は充電しないでください。  
指定された種類の電池を使ってください。

(以下の項目は充電式電池のみに適用となります)

電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

(以下の項目は充電式電池以外に適用となります)

電池内部の液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。  
火のなかに入れてください。ショートさせたり、分解、加熱しないでください。

## ⚠注意

+と-の向きを正しく入れてください。  
電池を使いきったとき、長時間使わないときは、取り出しておいてください。  
新しい電池と使った電池、種類の違う電池を混ぜて使わないでください。

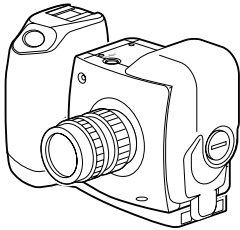
お願い

使用済みニカド電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、ニカド電池リサイクル協力店にご持参ください。

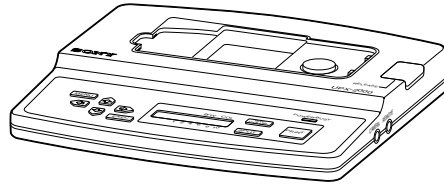
# 使いかた早分かり

本デジタルプリントシステムの使いかたの全体像を把握していただくために、典型的な使いかたをご紹介します。詳しい使いかたについては、( )内に記されたページをご覧ください。

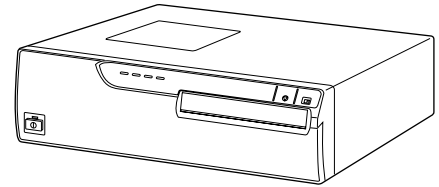
## 使用する本システムの構成品



カメラ



ステーション



プリンター

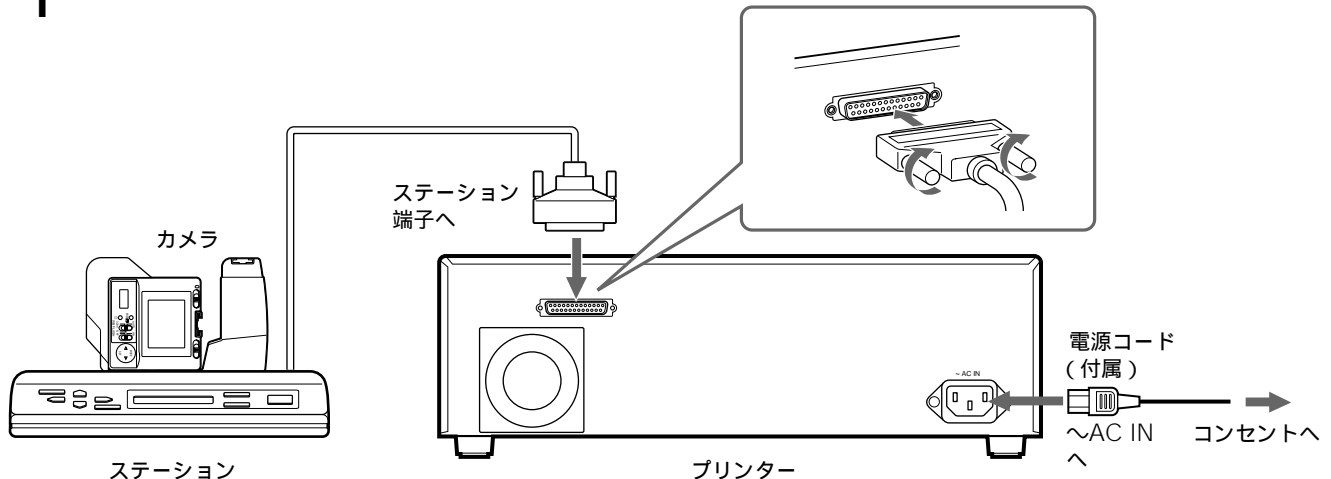
ペーパートレイ（使用するプリント紙のサイズに合ったペーパートレイをご使用ください。）(28ページ)  
排紙トレイ  
プリンター用電源コード  
ACパワーアダプター/チャージャー  
リチウム電池NP-F550

## 購入する必要があるもの

プリントバック(28ページ)

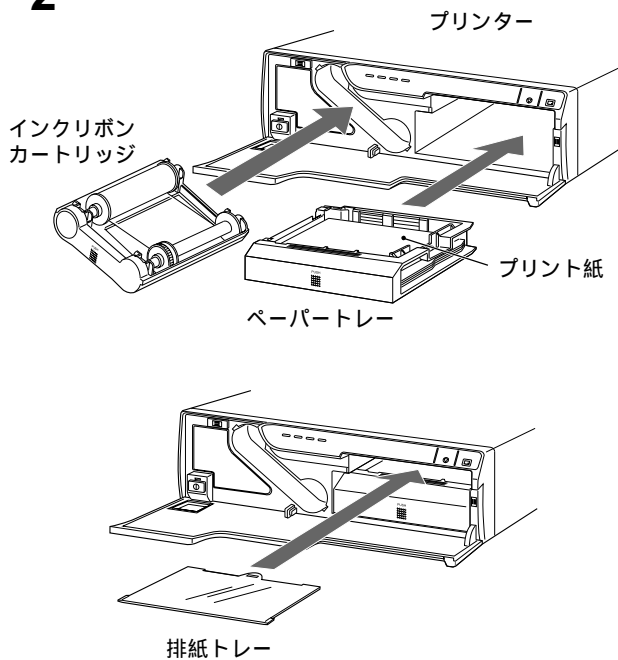
## 準備

1

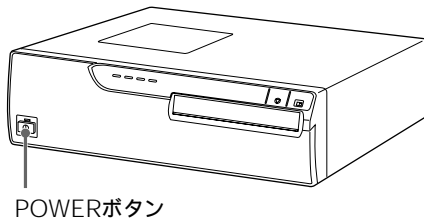




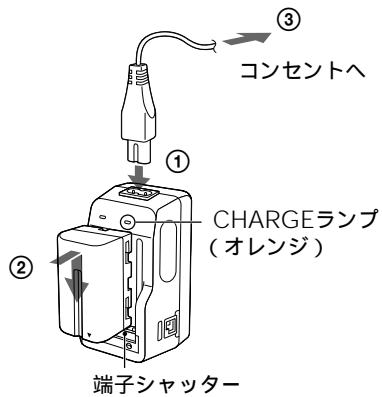
2



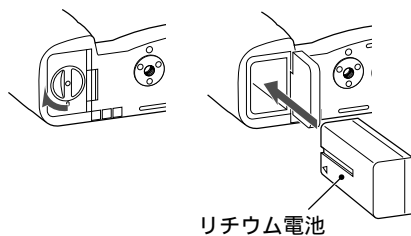
3



4



5



1 プリンターとステーションを接続する。(30 ページ)

2 プリントバックに入っているインクリボンカートリッジとプリント紙 (ペーパートレイに入れる) 排紙トレイをプリンターに入れる。(23 ページ)

3 プリンターのPOWER ボタンを押して、電源を入れる。

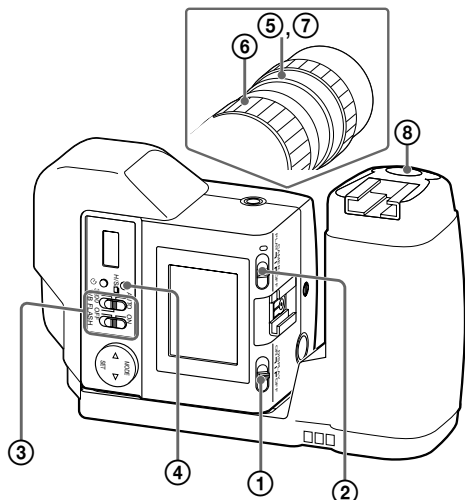
4 リチウム電池を充電する。(19 ページ)

- ① AC パワーアダプター / チャージャーに電源コードをつなぐ。
- ② AC パワーアダプター / チャージャーに電池を取り付ける。
- ③ 電源コードをコンセントにつなぐ。  
充電が始まると、CHARGEランプ(オレンジ)が点灯します。

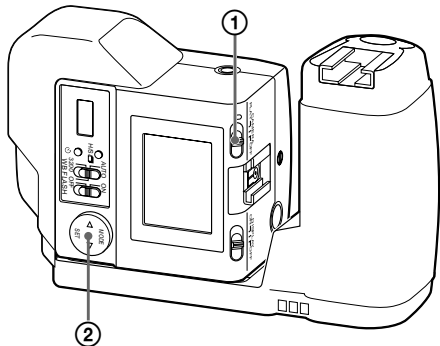
5 充電済みの電池をカメラに入れる。(20 ページ)

操作

1

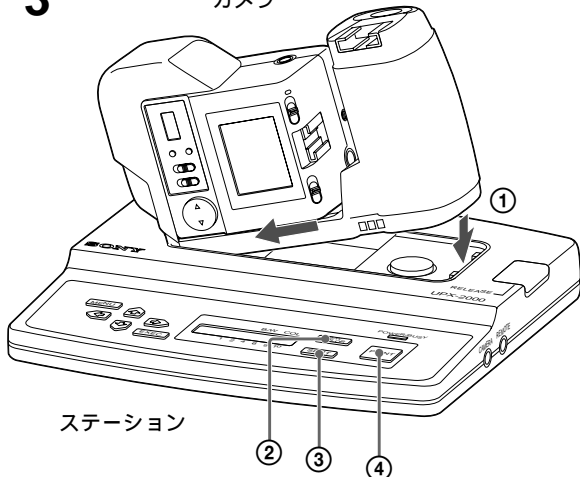


2



3

カメラ



ステーション

1 カメラで撮影する。(33 ページ)

- ① DISPLAY スイッチをONにする。
- ② PLAY/CAMERA/OFF スイッチをCAMERAにする。
- ③ FLASH スイッチをOFFに、WB スイッチをAUTOにする。
- ④ 撮影モードボタンを繰り返し押して、Hi(高解像度)モードにする。
- ⑤ レンズの絞りリングをC(クローズ)の位置から回して、絞りを開ける。  
絞りを1.4に合わせておくと、ピントが合わせやすくなります。
- ⑥ カメラを被写体に向け、カメラの液晶画面でモニターしながら構図を決め、焦点リングを回してピントを合わせる。  
焦点リング上の距離表示は目安であり、レンズと被写体間の実際の距離とは異なります。
- ⑦ レンズ絞りを調整する。
- ⑧ カメラのリリースボタンを押して撮影する。

続けて何枚か撮影するときは、手順⑤から⑧を繰り返してください。

2 撮影した画像を再生する。撮影した画像が何枚かあるときは、プリントしたい画像を選ぶ。(36 ページ)

- ① PLAY/CAMERA/OFF スイッチをPLAYにする。  
最後に撮影した画像が液晶画面に表示されます。
- ② モードボタンの◀または▶を押し、プリントしたい画像を選ぶ。

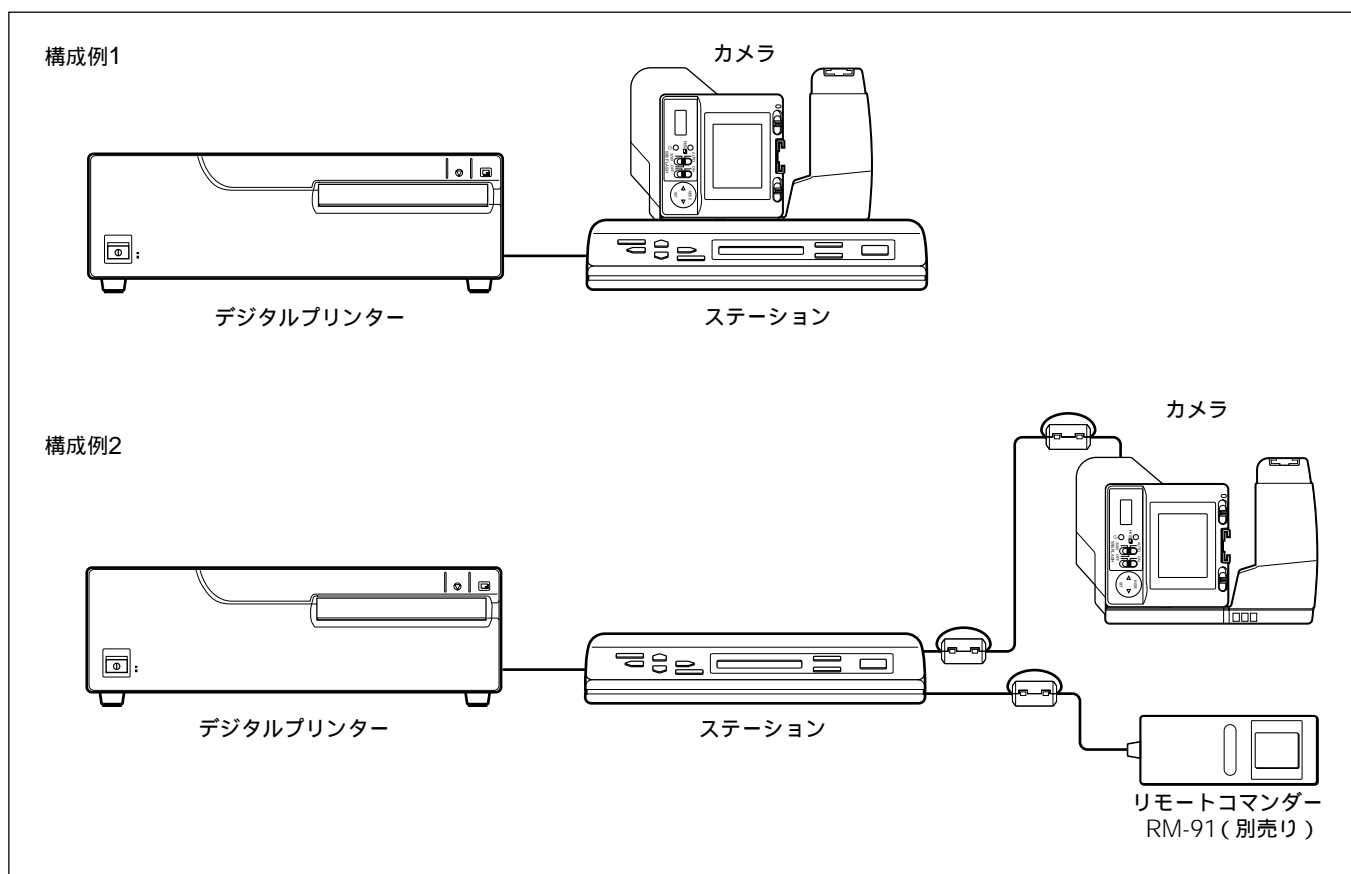
3 プリントする。

- ① カメラをステーションに取り付ける。(30 ページ)
- ② 必要なら、ステーションのB/W / COLOR ボタンを押して、プリント画像のカラー(COL)または白黒(B/W)を切り替える。(40 ページ)
- ③ 必要なら、ステーションのSPLIT ボタンを押して、プリント画像をフル画面(1)にするか、分割(2、4、6、9、16分割)するかを選ぶ。(12、40 ページ)
- ④ ステーションのPRINT ボタンを押す。  
プリントが始まり、約2分半後にプリント画が排出されます。  
プリント時間は、使用している紙により、多少異なります。

# 本システムの特長

本システムは、証明書写真などの撮影用に、デジタルカメラで画像を撮影し、その画像データを高画質、高解像度(310 dpi)、高速で、A6版サイズのプリント紙にフルカラー(各色256階調、1670万色)あるいは白黒でプリントするためのデジタルプリントシステムです。

## 主な構成例



本システムで作成できるプリント画

分割画面

分割数を変えると、次のようにいろいろなプリント画を作ることができます。

フル画面

2分割画面

4分割画面

6分割画面\*

9分割画面

16分割画面

\* 6分割画面が作れるのは、ラミネートプリントバックIPPM-200Jを使用しているときのみです。

**ご注意**

画面の分割数により、プリントされる画像の縦横比が多少異なります。詳しくは22ページをご覧ください。

カラーガイドプリント画

カラーの場合は、調整の目安となるカラーガイドをプリントすることができます。

色合い ( RGB ) 調整

$B+3:=(0,0,+3)$     $G-3:=(0,-3,0)$

$R-3:=(-3,0,0)$     $now:=(0,0,0)$     $R+3:=(+3,0,0)$

$G+3:=(0,+3,0)$     $B-3:=(0,0,-3)$

明暗トーン ( DARK、LIGHT、GAMMA ) 調整

$D+3:=(+3,0,0)$     $L+3:=(0,+3,0)$     $Gm+3:=(0,0,+3)$

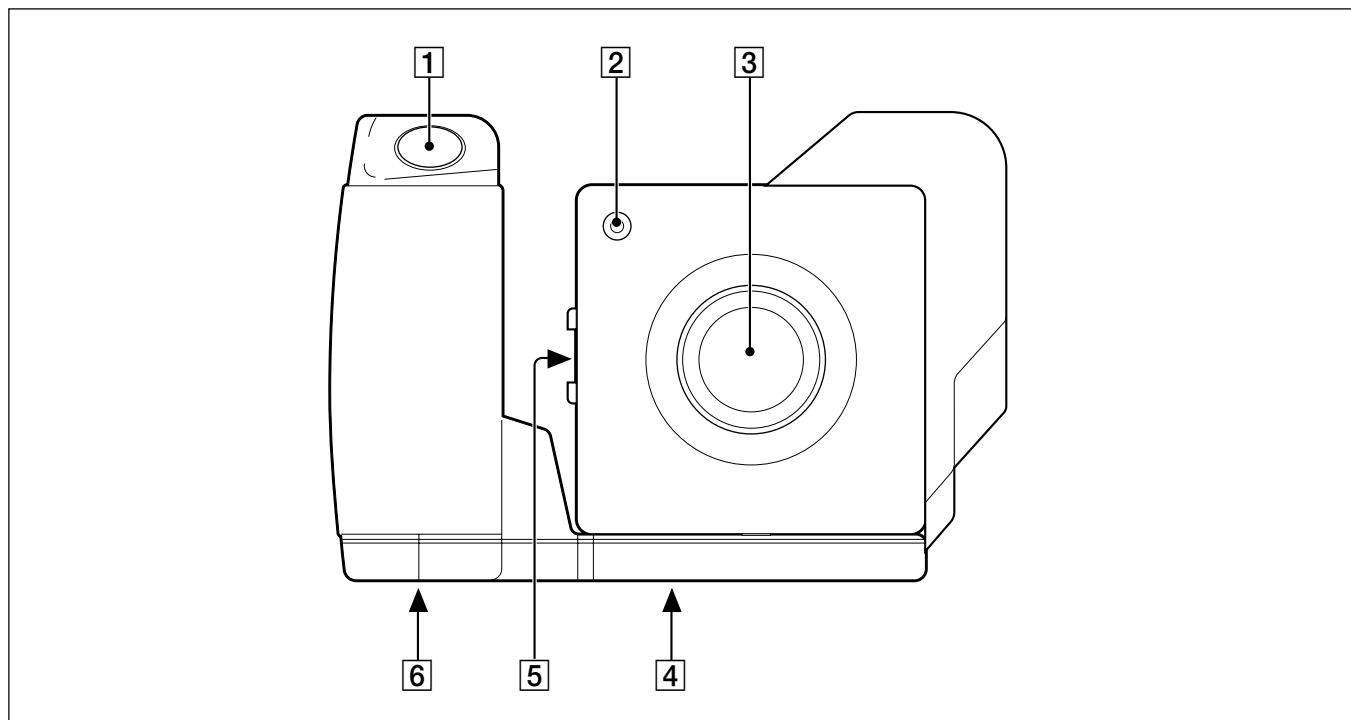
$now:=(0,0,0)$

$D-3:=(-3,0,0)$     $L-3:=(0,-3,0)$     $Gm-3:=(0,0,-3)$

# 各部の名称と働き ( )内の数字は、参照ページを示します。

## カメラ

### 前面



**①** レリーズボタン ( 33、34、35 )

押すと、カメラの液晶画面に表示されている画像をカメラ内部のメモリーに記録します。

**②** セルフタイマーランプ ( 34 )

セルフタイマー撮影時、レリーズボタンを押すと約7秒間点灯し、次に約3秒間点滅します。

**③** レンズ (  $f=16\text{mm}$ 、 $F1.4$  ) ( 23 )

市販のCマウントレンズと交換することもできます。

**④** 三脚取り付けネジ穴 ( 21 )

カメラを三脚に取り付けるとき使用します。クイックシュー - を取り付けることもできます。

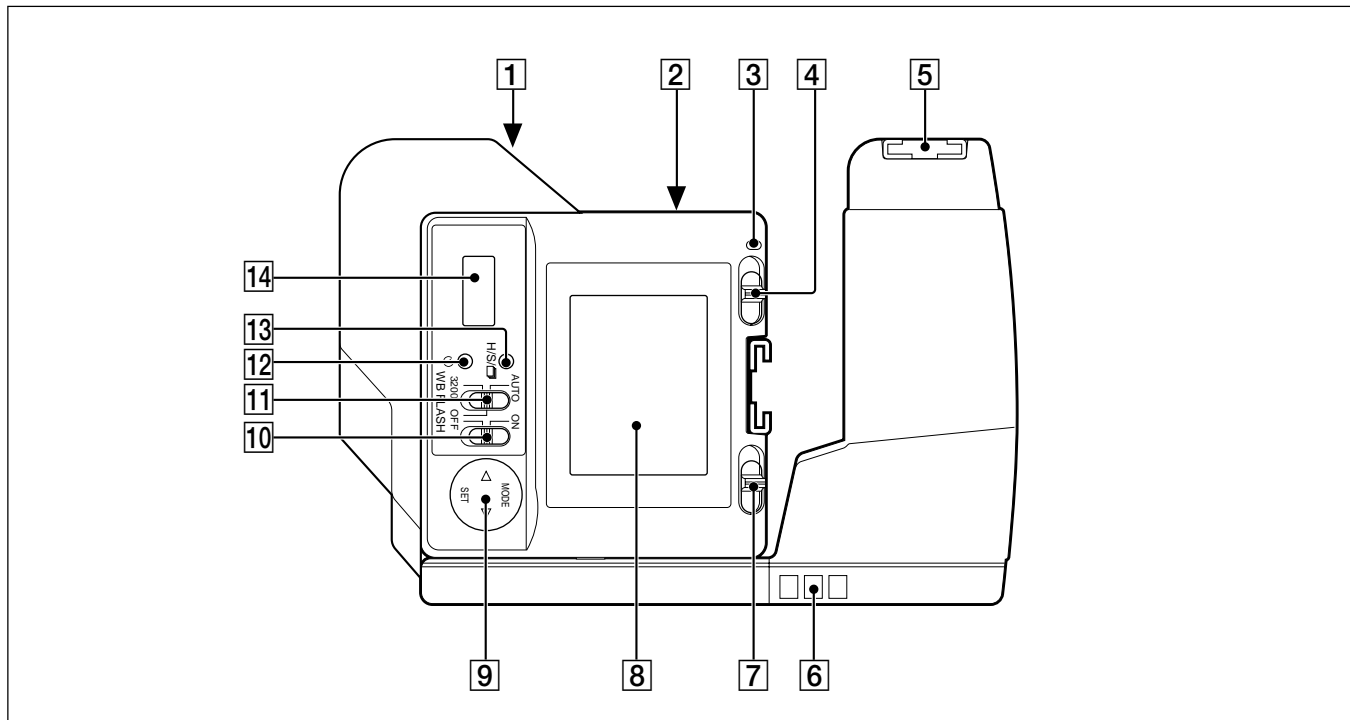
**⑤** フランジバック調整ネジ

レンズを交換したとき、フランジバックを調整します。

**⑥** 電池挿入ぶた ( 20 )

リチウム電池 ( 付属 ) を挿入します。

後面



① 端子ブロック(ケーブルカバー内部)

NTSC MON(モニター)端子: 別売りのビデオケーブルを使って、ビデオモニターの入力端子と接続します。液晶画面に表示されている画像をモニターの画面で見ることができます。

**ご注意**

NTSC信号のみに対応しています。PAL信号のモニターで画像を見ることはできません。

RELEASE(リリース)端子: シャッター操作のために、カメラグリップからのコードが接続されています。

DC8.4VIN端子(21): カメラをAC電源で使いたいとき、付属の接続コードを使ってACパワーアダプター/チャージャー(付属)をつなぎます。

RS-232C端子(31): ステーションから離れたところにカメラを置いてプリントしたいとき、別売りの接続ケーブルRK-G136と付属のプラグアダプターPC-262Sを使用して、ステーションのCAMERA端子と接続します。

② FLASH(フラッシュ)端子

ホットシュー対応でないストロボを使用するとき、ストロボのコードを接続します。

③ 録画ランプ(緑)

点灯: PLAY/CAMERA/OFFスイッチがCAMERAまたはPLAYになっています。

速く点滅: 撮影可能枚数が0になっています。

ゆっくり点滅: 撮影した画像をメモリーに取り込み中です。

④ PLAY/CAMERA/OFF(記録/再生)スイッチ  
(33、34、36、38、39)

PLAY: 撮影した画像を見るとき、この位置にします。

この位置になっているとき、モードボタンの操作ができます。

CAMERA: 画像を撮影するとき、この位置にします。録画ランプ(緑)が点灯します。

OFF: カメラを使わないときこの位置にします。電源が切れます。

⑤ ストロボシュー(35)

市販のストロボを使いたいとき、ここに取り付けます。ストロボのコードをFLASH端子に接続すると、シャッターに同期して発光します。

⑥ 接点

カメラとステーションの接点です。汚さないようご注意ください。汚れが付いたときは、綿棒などできれいにふき取ってください。

⑦ DISPLAY(表示)スイッチ(33、34、36、38、39)

液晶画面の表示をON/OFFします。

## ⑧ 液晶画面

DISPLAY スイッチを ON にし、PLAY/CAMERA/OFF スイッチを PLAY または CAMERA にすると画像が出ます。PLAY にしたときは再生画像、CAMERA にしたときはレンズがとらえている画像が表示されます。

ステーションを介してカメラをプリンターに接続しているとき、プリンターとの通信中は、画像が消えます。

DISPLAY スイッチが PLAY のとき、モードボタンの MODE を押すと、モード画面になります。

モード画面について詳しくは、「モードボタン」をご覧ください。

## ⑨ モードボタン (36、37、38、39)

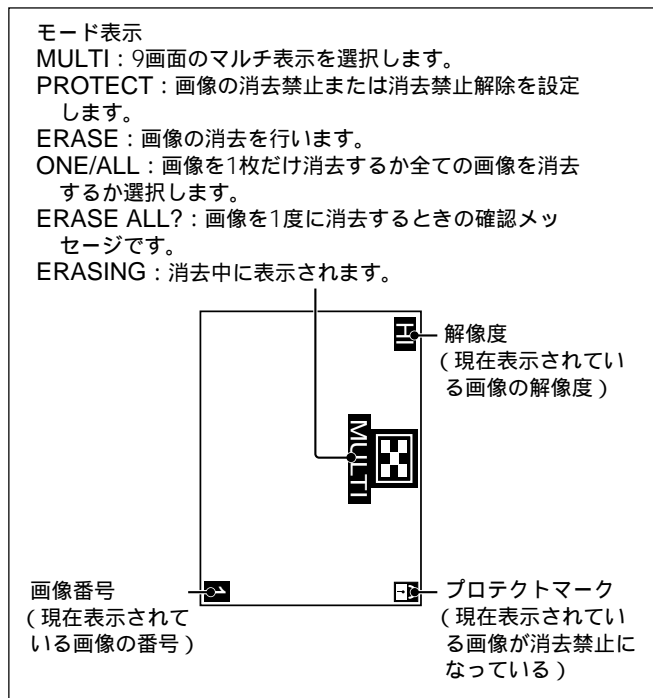
PLAY/CAMERA/OFF スイッチを PLAY に設定したときに働きます。

MODE、SET、◀、▶ の部分を軽く外側へ倒すように押すと、次のように働きます。

MODE：押すとモード画面になります。押すたびに、液晶画面中央上に出るモード表示が、無表示 MULTI (マルチ画面) PROTECT (プロテクト設定画面) ERASE (消去画面) と変わります。◀または▶を押して選んだ内容や現在進行中の操作をキャンセルしたいときにも、MODE 側を押します。

SET：MODE または ◀、▶ で選択した内容を確定します。

◀、▶：表示する画面や、消去する画面、消去禁止にする画面を選択します。



## ⑩ FLASH (フラッシュ) スイッチ (35)

ON：フラッシュを使って撮影するときこの位置にします。色温度 5400K のホワイトバランスになります。操作画面には、フラッシュ

の有無に関係なくフラッシュマークが表示され、シャッター速度 1/250 で画像を取り込みます。この位置では、WB スイッチは働きません。

OFF：ストロボ撮影をしないとき、この位置にします。

## ⑪ WB (ホワイトバランス) スイッチ (33、34)

FLASH スイッチが OFF になっているとき、ホワイトバランス調整モードを切り替えます。

AUTO：撮影時に、自動的にホワイトバランスを調整します。

3200：色温度 3200K のホワイトバランスになります。

## ⑫ セルフタイマーボタン (34)

セルフタイマーを使って撮影するとき押します。操作画面にセルフタイマーマークが点滅します。もう一度押すと、マークは消えセルフタイマー撮影は解除されます。

マークが点滅している状態でリリースボタンを押すと、セルフタイマーランプ (赤) が約 7 秒間点灯し、次に約 3 秒間点滅してシャッターが切れます。シャッターが切れる前にリリースボタンを押すと、セルフタイマー動作が一時的に中断します。

## ⑬ 撮影モードボタン (33、34)

撮影する画像の画質を切り換えます。押すたびに、操作画面の表示が Hi Hi① Hi② S と切り換わります。

Hi：高解像度 (640 × 480) モードになります。撮影できる画像は 30 枚です。

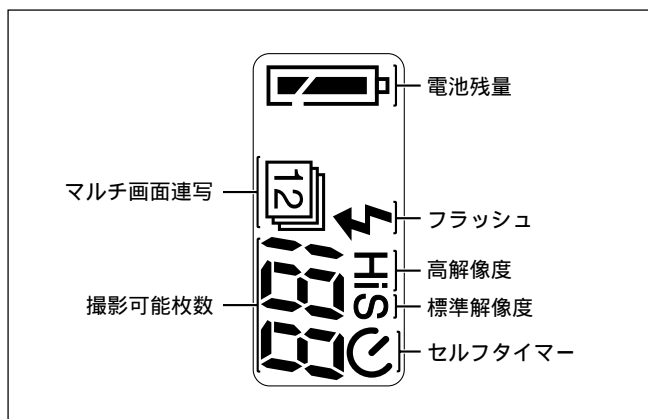
Hi①：高解像度のマルチ画面連写 1 モードになります。1/16 サイズの画像を、0.1 秒間隔で 16 枚連続して撮影します。

Hi②：高解像度のマルチ画面連写 2 モードになります。1/16 サイズの画像を、0.2 秒間隔で 16 枚連続して撮影します。

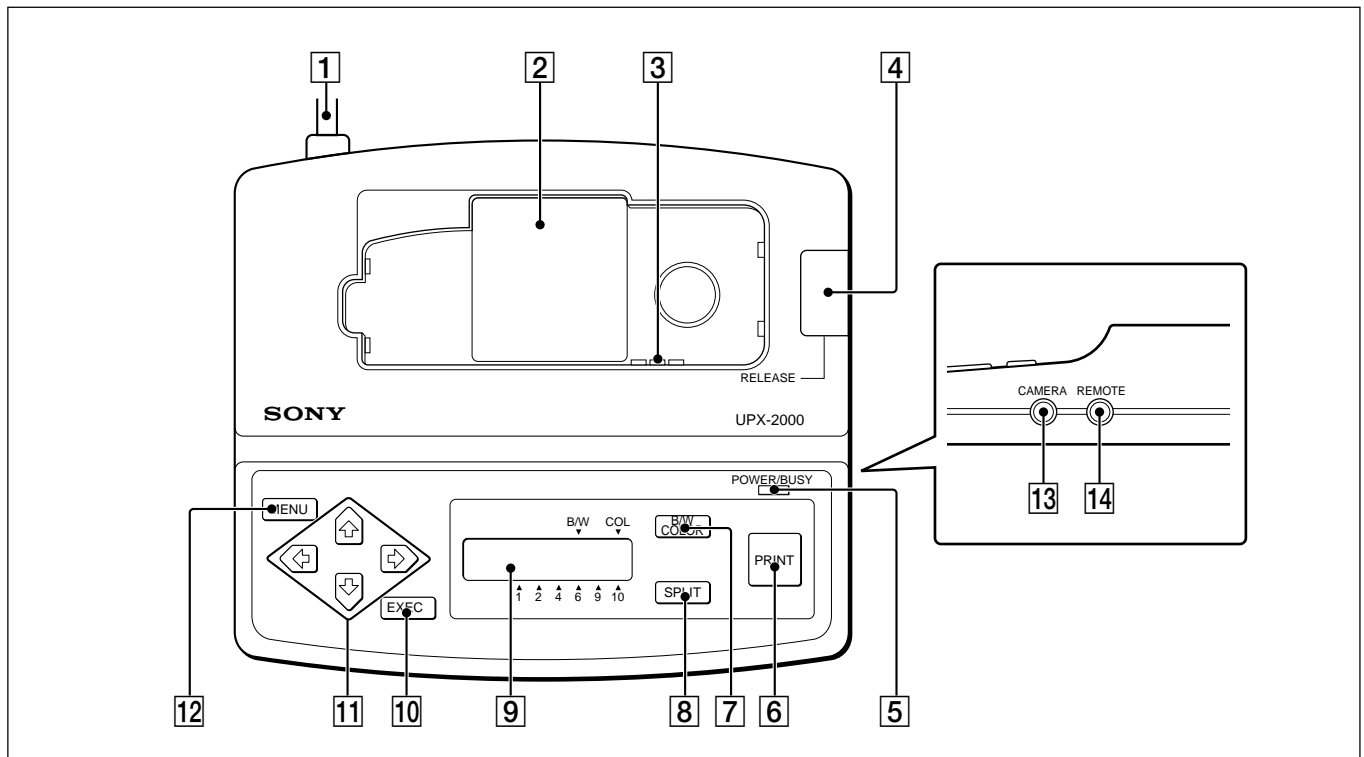
S：標準解像度 (320 × 240) モードになります。120 枚の画像を撮影できます。

## ⑭ 操作画面

PLAY/CAMERA/OFF スイッチを PLAY または CAMERA にすると、操作や設定状況に応じたマークが表示されます。



## ステーション



**1** プリンター接続ケーブル (30)

プリンターのステーション端子に接続します。

**2** カメラ装着位置 (30)

カメラ(グリップ付き)を装着します。

**3** 接点

ステーションとカメラの接点です。汚さないようにご注意ください。汚れが付いたときは、綿棒などできれいにふき取ってください。

**4** RELEASE (リリース) ボタン

カメラを取り外すときに押します。

**5** POWER / BUSY (電源 / ビジー) ランプ (40)

接続されているプリンターの電源が入ると緑に点灯します。カメラからステーションに画像データが送られている間、赤く点滅します。赤の点滅中はカメラを取り外さないでください。

**6** PRINT (プリント) ボタン (40、41)

カメラ側で選んでいる画像をプリントするときに押します。

**7** B/W / COLOR (白黒 / カラー) ボタン (40)

プリント画を白黒またはカラーに切り替えます。

**8** SPLIT (画面分割) ボタン (12、40)

プリント画をフル画面(1)にするか、分割(2、4、6、9、16)画面にするかを選びます。

**9** 液晶画面 (42、43)

メニュー操作やB/W / COLOR ボタン、SPLIT ボタンの設定値が表示されます。

**10** EXEC (実行) ボタン (42、44)

メニューで設定した値を保存するとき押します。

**11** カーソル移動キー (42、43、44)

メニュー画面での操作に使用します。

**12** MENU (メニュー) ボタン (42、43、44)

メニュー画面を出すときに押します。また、メニュー画面から通常画面に戻るとき押します。

**13** CAMERA (カメラ) 端子 (31)

カメラをステーションから離れた位置で使いたいとき、カメラのRS-232C端子とつなぎます。

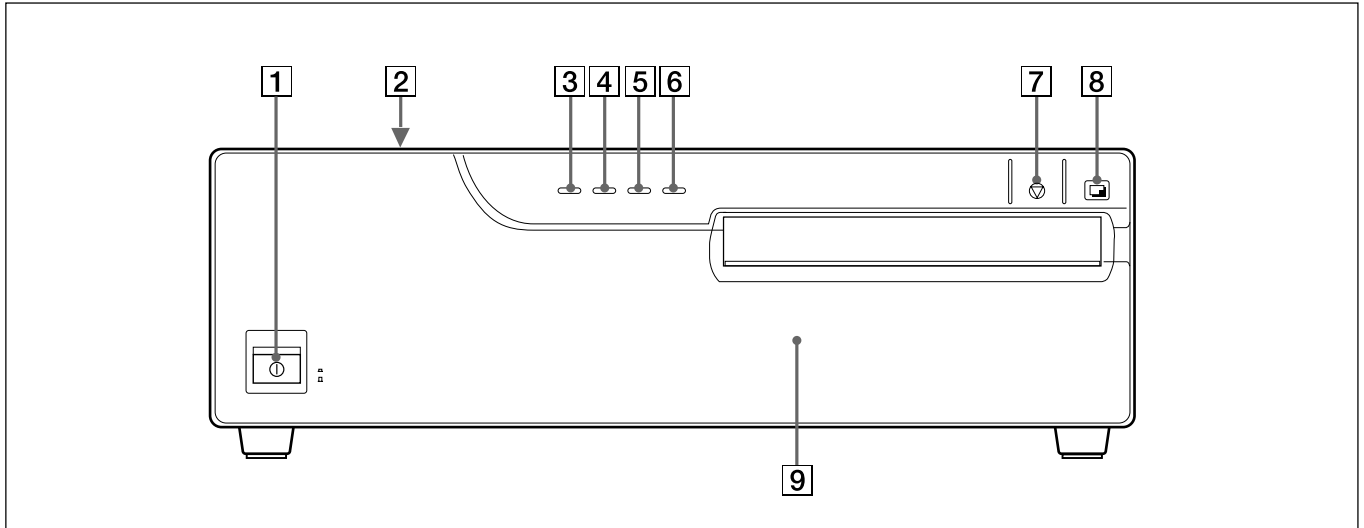
**14** REMOTE (リモート) 端子 (31)

プリント操作として別売りのリモートコマンダーRM-91を使用するときに接続します。



## プリンター

### メインパネル



**①** ①POWERスイッチ(40)

本機の電源をON / OFF(入 / 切)します。

**②** 上ぶた

つまったプリント紙を取り出すときに開けます。

**③** PRINTランプ(40、57)

プリント中点灯します。

**④** ALARMランプ(40、41、57)

紙づまりなど、エラーが起きたときオレンジ色に点灯します。

**⑤** RIBBONランプ(40、41、57)

インクリボンカートリッジに係わるエラーが起きたとき点灯します。

**⑥** PAPERランプ(40、41、57)

プリント紙に係わるエラーが起きたとき点灯します。

**⑦** ⑦STOPボタン(41)

プリントを途中で終わらせるときに押します。

**⑧** ⑧PRINTボタン

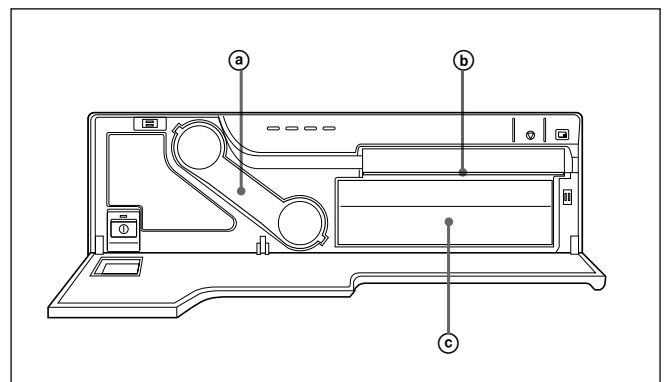
プリンターのメモリーに記憶している画像を再度プリントするときに押します。

**⑨** フロントドア

フロントドアの上部を手前に引いて開けます。

フロントドア内部には、給紙トレイ、インクリボンカートリッジ、排紙トレイなどがあります。

フロントドア内部



**①** a インクリボンカートリッジ(23、28)

インクリボンカートリッジを装着します。

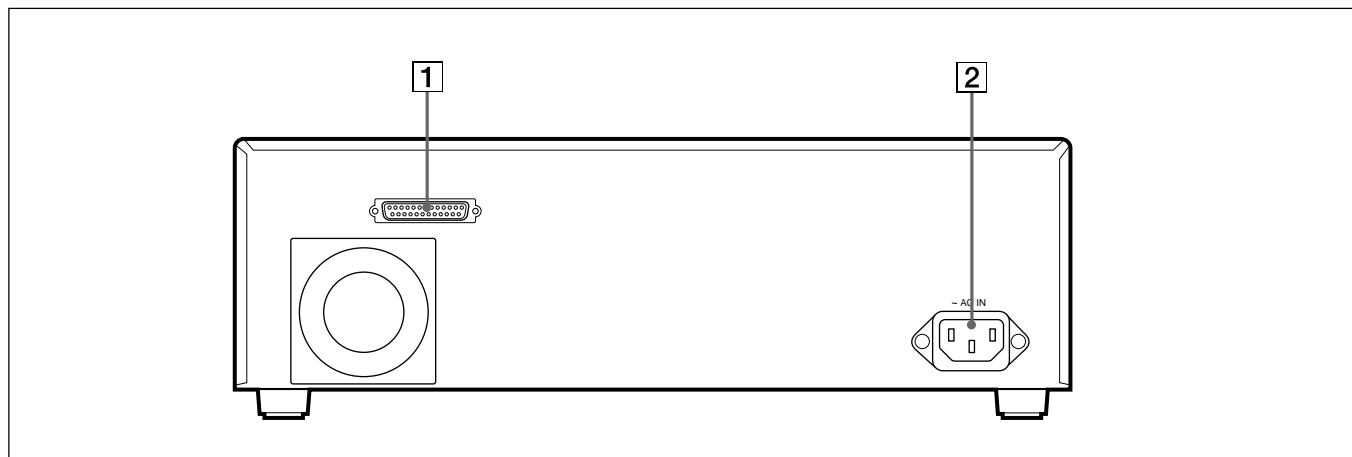
**②** b 排紙トレイ(28)

プリント画が排出されるトレイです。

**③** c 給紙トレイ(26、28)

プリント用紙を入れておくトレイです。

後面



① ステーション端子

ステーションのプリンター接続ケーブルを接続します。

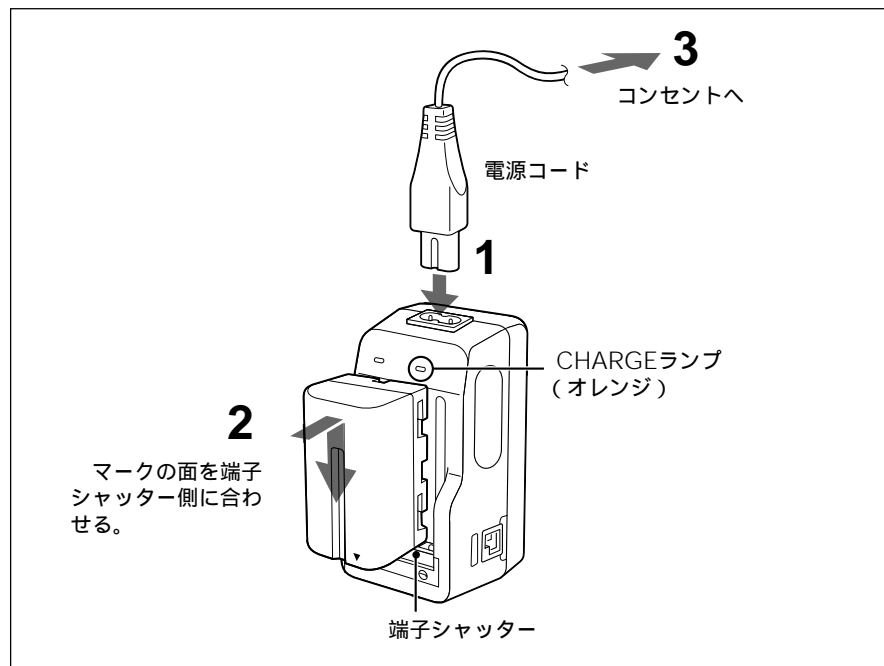
② ～AC IN(電源入力)端子

電源コード(付属)をつなぎます。

## カメラの準備

### 電池を充電する

付属のACパワーアダプター / チャージャーにバッテリーを取り付けて充電します。



**1** 電源コードをつなぐ。

**2** 電池をはめ込んでから矢印の方向へずらす。  
端子シャッターが隠れるまで押し込みます。

**3** コンセントにつなぐ。

充電が始まると、CHARGEランプ(オレンジ色)が点灯します。充電されるとCHARGEランプが消えます(実用充電)。続けて約1時間充電すると若干長く使えます(満充電)。

電池を取りはずすとき

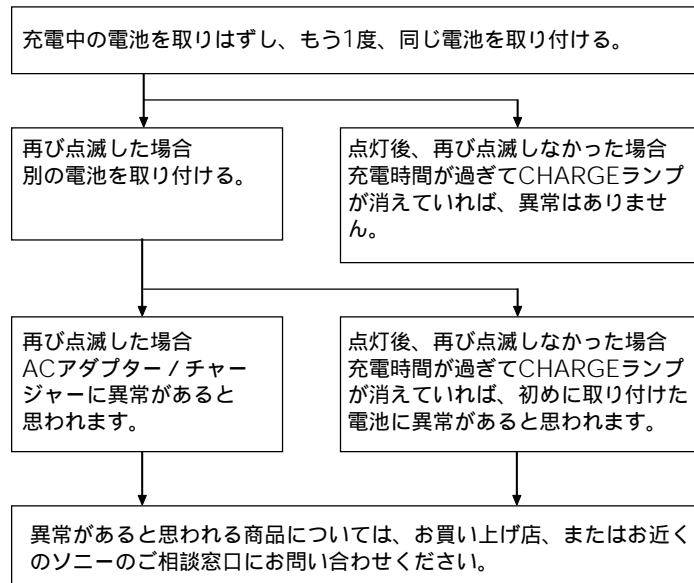
取り付けたときの操作と反対の方向にずらす。

急いで使いたいとき

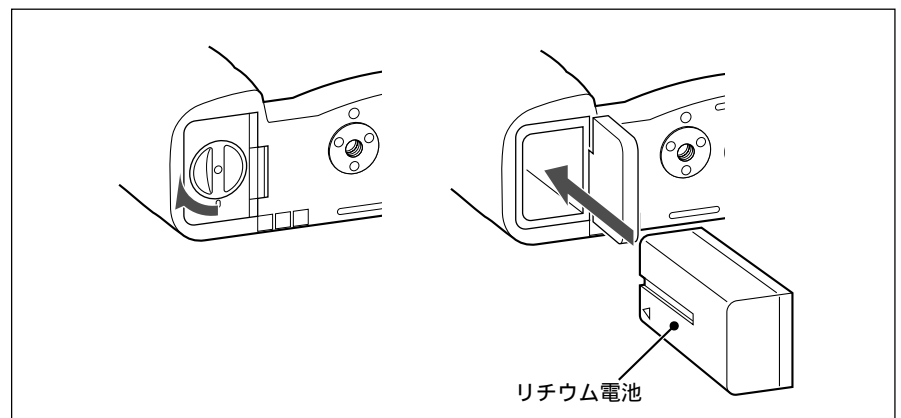
電池は、充電が完了する前でも必要なときに取りはずして使えます。ただし、充電時間によってお使いになれる時間が異なります。

**ご注意**

- CHARGEランプが点灯しなかったり点滅したときは、電池がしっかり取り付けられているか確認してください。しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。
- すでに充電を完了している電池を取り付けたとき、CHARGEランプが1度点灯してから消えます。
- 充電するときは、AC パワーアダプター / チャージャーのDC出力端子の接続は外しておいてください。
- 充電中に何か異常があると、CHARGEランプが点滅します。次の手順で確認してください。



電池を入れる



- 1 電池挿入ぶたを開ける。
- 2 リチウム電池を挿入する。
- 3 電池挿入ぶたを閉める。

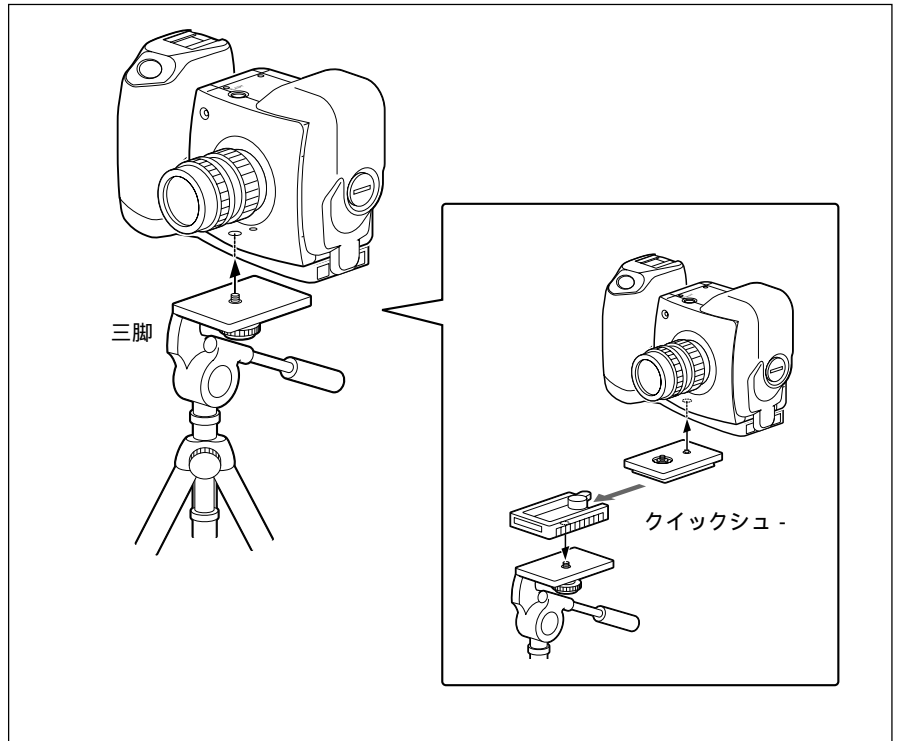
AC電源を使って動作させる

付属のACパワーアダプター / チャージャー AC-V615を使って、AC電源でカメラを動作させることもできます。AC電源でカメラを動作させるには、付属の接続コードを使って、ACパワーアダプター / チャージャーのDC出力端子と、カメラのDC 8.4V IN端子(ケーブルカバー内部)を接続します。接続の際には、カメラのケーブルカバーをはずし、DC 8.4V IN端子に接続してあるプラグを抜く必要があります。

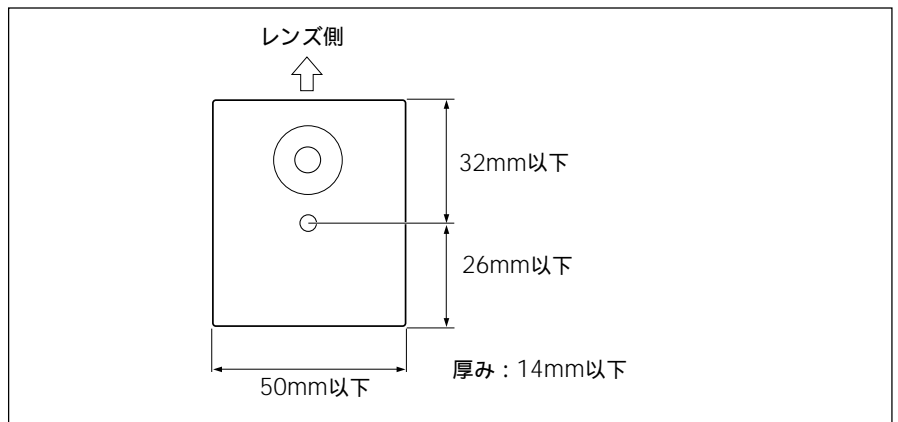
詳しくは、「ケーブルカバーを取り外す / 取り付ける」(32ページ)をご覧ください。

## 三脚へ取り付ける

カメラ底面の三脚取り付けネジ穴を使って、カメラを三脚に取り付けることができます。市販のクイックシュー - を装着すると、簡単に取り付け / 取り外しができます。

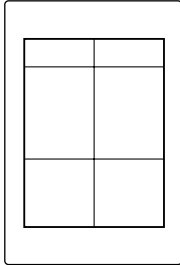


使用できるクイックシューのサイズ

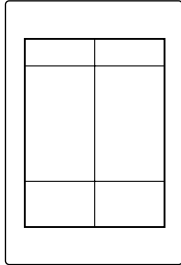


カメラのディスプレイ用シールを取り付ける

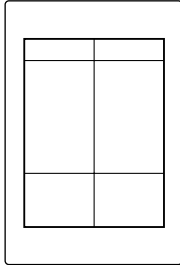
ディスプレイ用シールが5枚付属しています。カメラの液晶画面に貼っておくと、撮影のとき構図をきめるのに便利です。日本のパスポート用に撮影するときは、IIのシールをご使用になり、プリント画像を4分割または6分割にしてください。



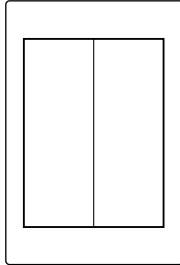
シール I(x1)



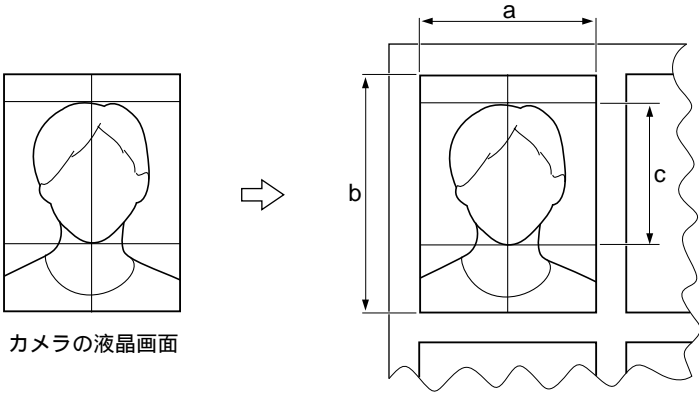
シール II(x1)



シール III(x1)



シール IV(x2)



カメラの液晶画面

プリントされるサイズとそれに対する顔のサイズ(mm)

**シール I**

画面分割数	1	2	4	6	9	16
a × b	78 × 105	52.5 × 70	39 × 52	35 × 45	25 × 30	19.5 × 26
c	44	28	22	22	15	11

**シール II**

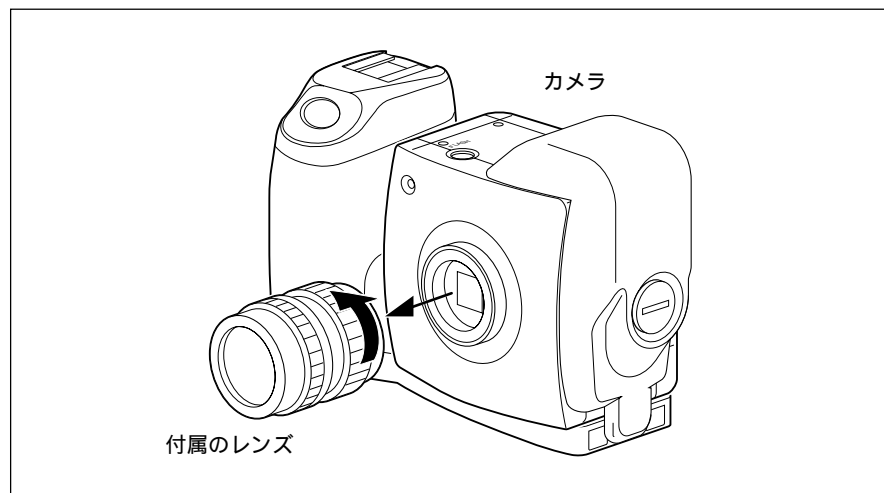
画面分割数	1	2	4	6	9	16
a × b	78 × 105	52.5 × 70	39 × 52	35 × 45	25 × 30	19.5 × 26
c	54	35	27	27	19	13.5

**シール III**

画面分割数	1	2	4	6	9	16
a × b	78 × 105	52.5 × 70	39 × 52	35 × 45	25 × 30	19.5 × 26
c	57	37	28.5	28.5	20	14

## レンズを交換する

付属のレンズの代わりに、市販のCマウントレンズを取り付けることもできます。



- 1 付属のレンズを左に回して、カメラから外す。
- 2 新しいレンズを取り付ける。

## プリンターの準備

初めてプリンターをお使いになる場合は、付属品を確認し、組み立ててからお使いください。

ここでは、実際のプリントを始める前の準備として、次の操作について説明します。

- ・インクリボンカートリッジ（別売りのプリントパックの構成品）を取り付ける。（下記）
- ・プリント紙と排紙トレイを入れる。（26ページ）

これらの操作は、日常のプリント操作で毎回する準備ではありません。必要に応じて行ってください。

### インクリボンカートリッジを取り付ける

プリントするには、インクリボンカートリッジとプリント紙が必要です。

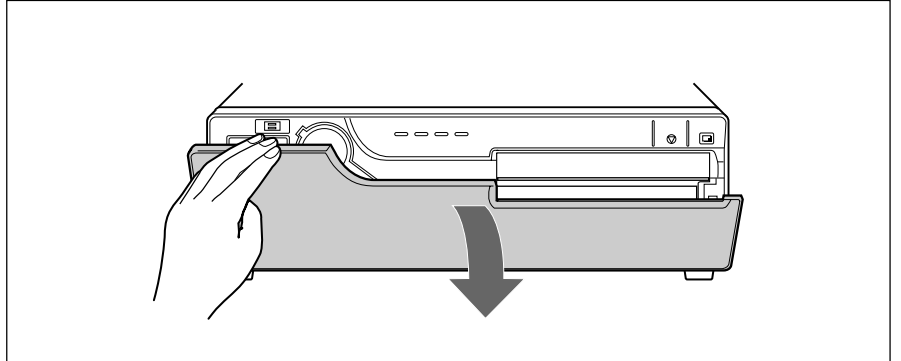
インクリボンカートリッジとプリント紙は、同じ箱に入っているものを組み合わせてお使いください。

#### **ご注意**

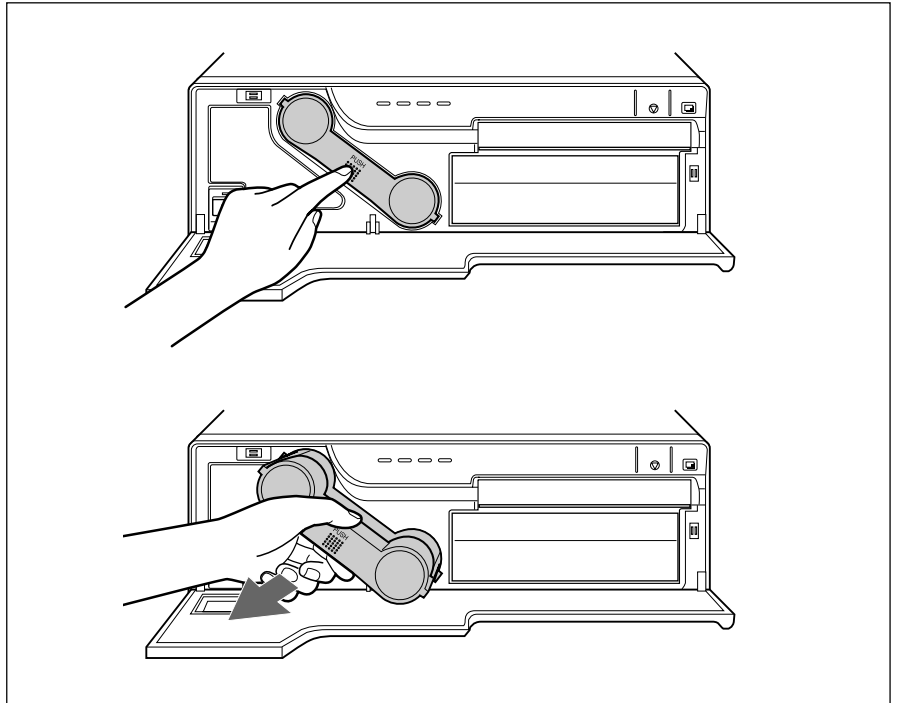
異なった組み合わせのインクリボンカートリッジとプリント紙を使用すると、誤動作や故障の原因となることがあります。（詳しくは「使えるプリントパックとペーパートレイについて」（28ページ）をご覧ください。）

プリンター使用中にインクリボンカートリッジを交換する場合は、電源を切らないでください。電源を切るとメモリーに記憶した画像は消えてしまいます。

**1** フロントドアの上部を手前に引いて開ける。

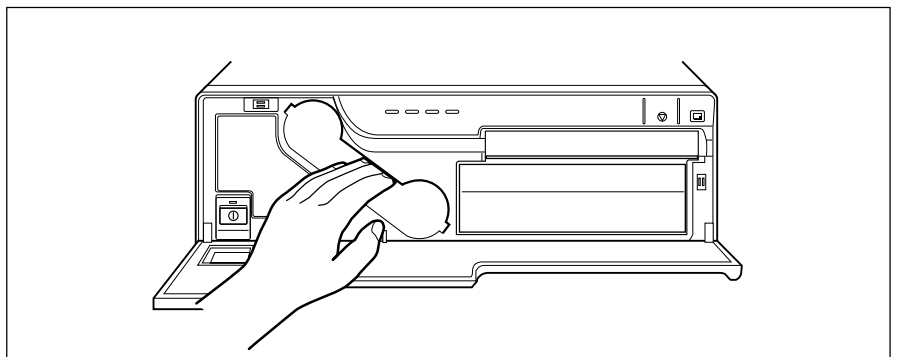


**2** インクリボンカートリッジを押して取り出す。  
初めてプリンターをお使いになる場合は、この操作は不要です。



**注意**

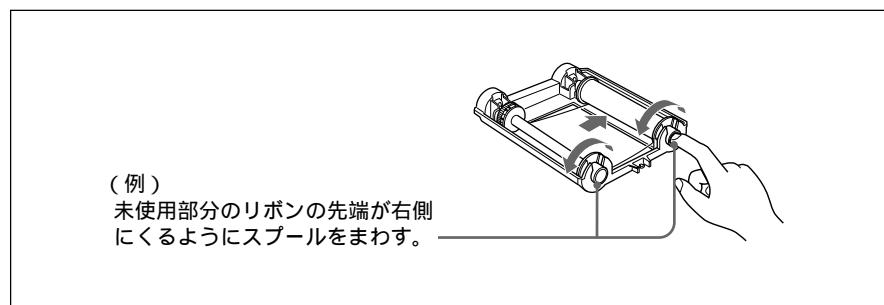
インクリボンカートリッジ装着口の内部に手を入れないでください。中にあるプリントヘッドが熱くなっている場合があります。



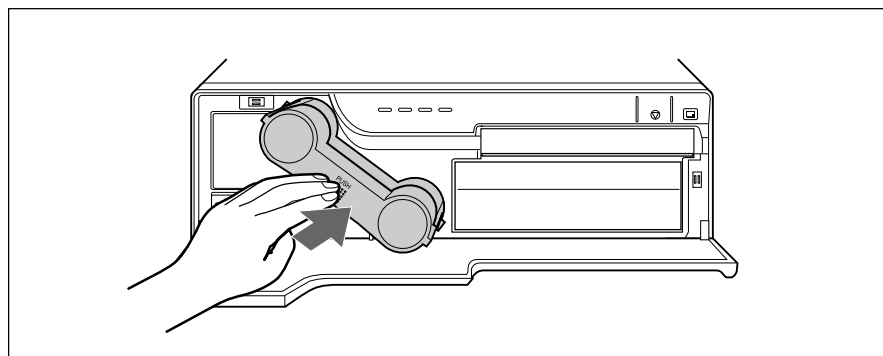


### 3 インクリボンのたるみを取る。

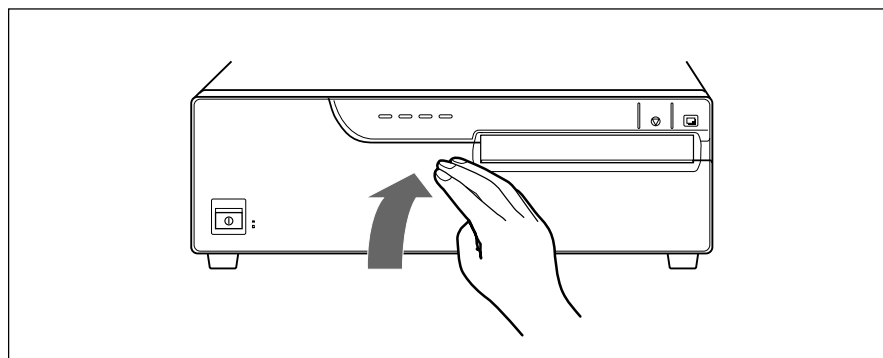
たるんだまま差し込むと、挿入時にリボンが傷んでしまうことがあります。



### 4 インクリボンカートリッジを入れ、止まるまで押し込む。



### 5 フロントドアを閉じる。



#### ご注意

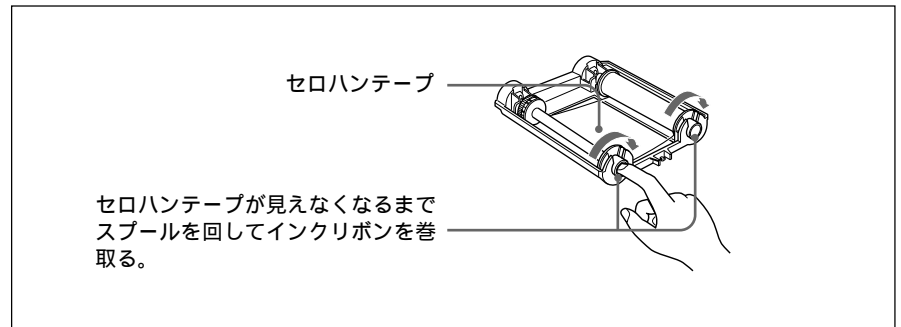
インクリボンカートリッジを取り扱うときは

- 使用済みのインクリボンカートリッジを再度使用しないでください。
- インクリボンカートリッジは、表面に触れたりほこりの多いところに置かないでください。手あかやほこりが付着すると、プリント画が汚れたり、ヘッドの故障の原因になることがあります。

インクリボンカートリッジを保存するときは

- 温度や湿度の高いところでの保存は避けてください。
- 使用途中で長期保存する場合は、製品の入っていた防湿袋にいれて保存してください。

インクリボンが途中で切れてしまったときは  
透明なセロハンテープなどでつなげば、残りのリボンを使うことができます。



## プリント紙と排紙トレイを入れる

次の手順でプリント紙を入れます。プリント紙とカートリッジは、同じ箱に入っているものを組み合わせてお使いください。また、プリント紙のサイズに合ったペーパートレイをご使用ください。

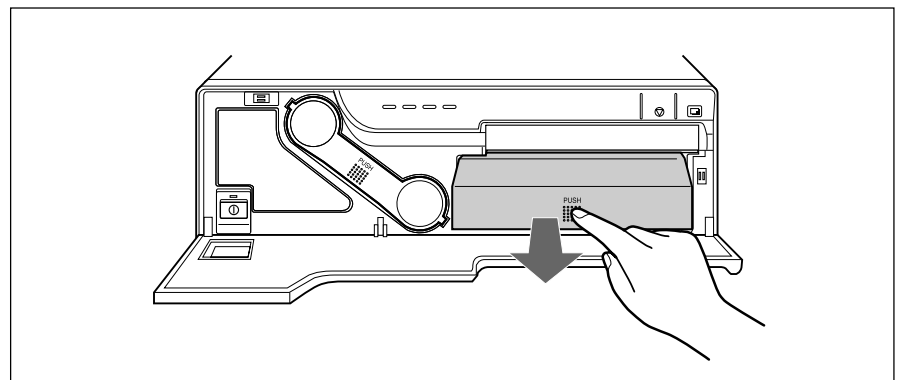
### ご注意

- 異なった組み合わせのインクリボンカートリッジとプリント紙を使用すると、誤動作や故障の原因となることがあります。
- プリンター使用中にプリント紙を入れ替える場合は、電源を切らないでください。電源を切るとメモリーに記憶した画像が消えてしまいます。
- プリント紙を取り扱うときは、プリント面には手を触れないようにしてください。

**1** フロントドアの上部を手前に引っぱって開ける。

**2** 給紙トレイ上のPUSHと書いてある部分を押す。

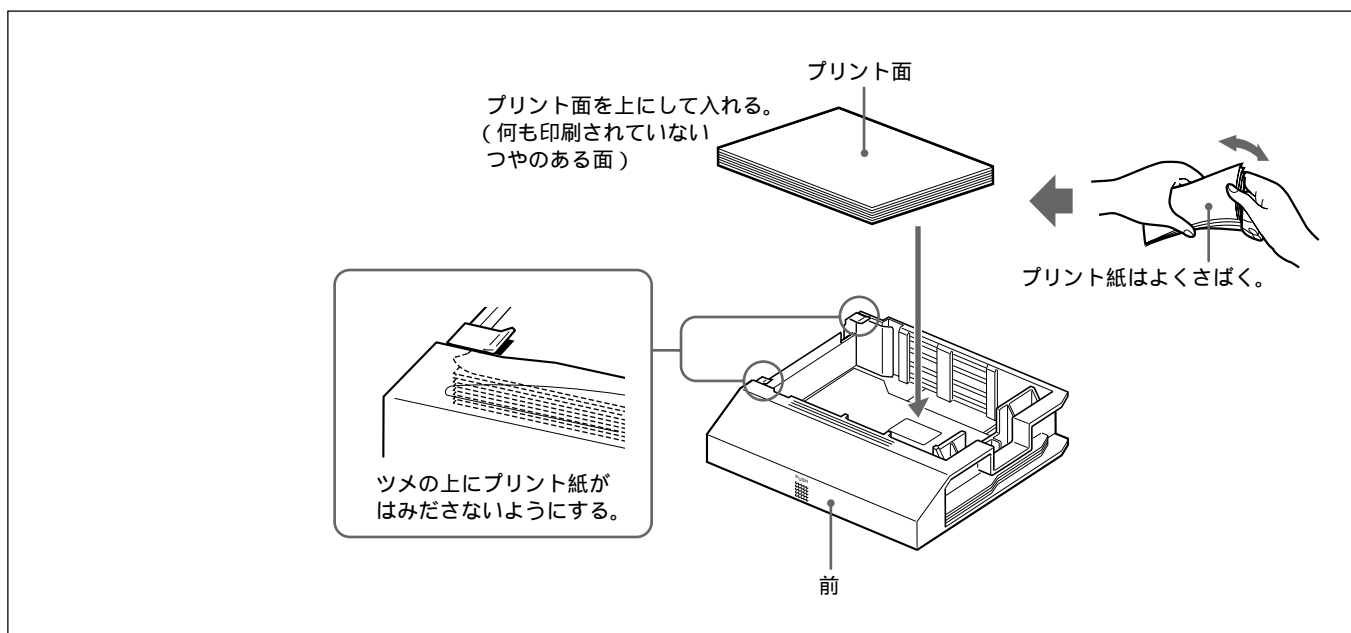
初めてプリンターをお使いになる場合は、この操作は不要です。



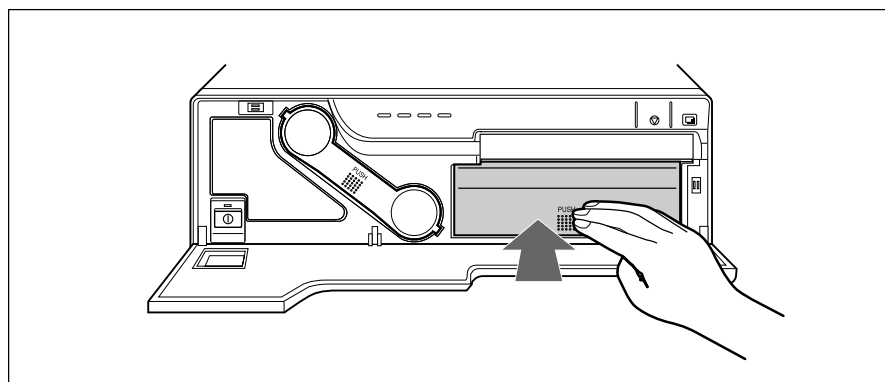
### 3 プリント紙を給紙トレイに入れる。

#### ご注意

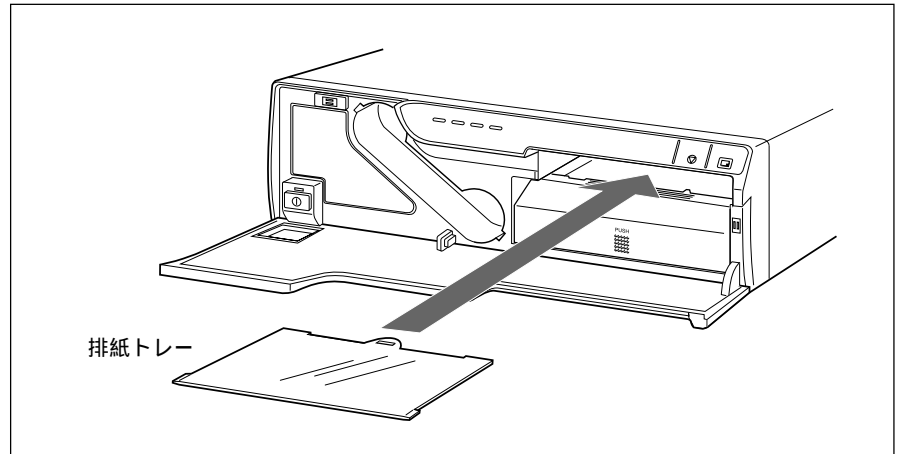
- トレーに入る紙の量は、使用するプリント紙により異なります。プリント紙を追加する場合は、紙の量を加減してください。入れすぎると、紙づまりの原因になります。使用する紙の量について詳しくは、「使えるプリントパックとペーパートレイについて」(28ページ)をご覧ください。
- 給紙トレイにプリント紙を入れるときは、トレーに紙が完全に収まるよう正しく入れてください。反りのある紙を使うと、トレーから紙がはみ出し、プリント位置がずれることがあります。プリント位置がずれるときは、紙の量を減らしてください。



### 4 給紙トレイをカチッと音がするまで差し込む。



## 5 排紙トレイを入れる。



## 6 フロントドアを閉める。

### ご注意

プリント紙を保存するときは

- 湿度の高いところ、直射日光の当たるところでの保存はさけてください。
- ほこりの多いところに置かないでください。ほこりや砂が付着すると、ヘッドの故障の原因となることがあります。
- 使用中で本体から取り外して長期保存する場合は、プリント紙の入っていた袋などに入れて保存してください。

## 使えるプリントパックとペーパートレイについて

インクリボンカートリッジとプリント紙は、同じプリントパックの箱に入っているものをペアでお使いください。

インクリボンカートリッジとプリント紙を異なった組み合わせで取り付けした場合、本来の画質が得られない場合があります。プリントのトラブルや故障の原因となる場合があります。

ペーパートレイについて

付属のペーパートレイは、プリント紙のサイズに合わせて2種類用意されています。プリント紙のサイズに合ったペーパートレイをご使用ください。

大型ペーパー用トレイと一緒に使用するプリントパック

ラミネートプリントパックIPPM-200J

ラミネート加工用のインクリボンカートリッジとプリント紙が入っています。証明写真などをプリントする場合にお使いください。

プリント用インクリボンカートリッジ 1巻

A6サイズプリント紙 120枚(サイズ“L”)

---

小型ペーパー用トレーと一緒に使用するプリントパック

ステッカー16分割用プリントパックUPC-20S16

ステッカー16分割画面用のカラーのインクリボンカートリッジとプリント紙が入っています。

プリント用インクリボンカートリッジ 1巻

A6サイズプリント紙 200枚

ステッカー4分割用プリントパックUPC-20S04

ステッカー4分割画面用のカラーのインクリボンカートリッジとプリント紙が入っています。

プリント用インクリボンカートリッジ 1巻

A6サイズプリント紙 200枚

詳しくは、お買い上げ店、お近くのソニーご相談窓口にお問い合わせください。

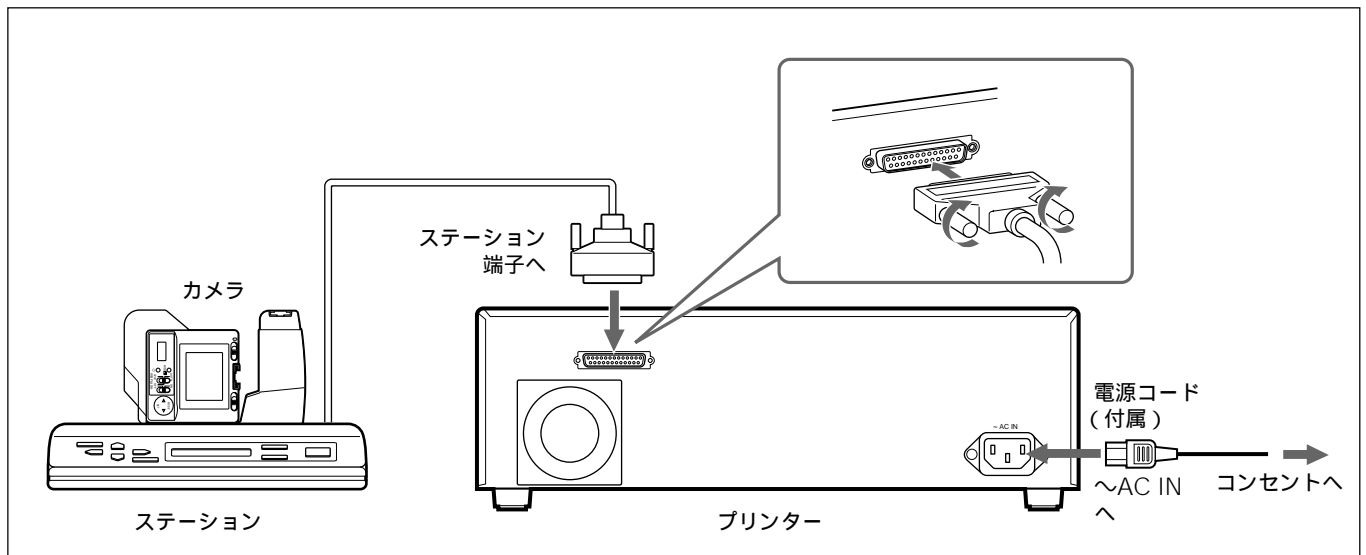
## 接続する

ステーションとプリンターを接続します。

### ご注意

- 接続するときは、すべての機器の電源を必ず切ってください。
- プリンターケーブルのコネクターは最後までしっかり挿入してください。

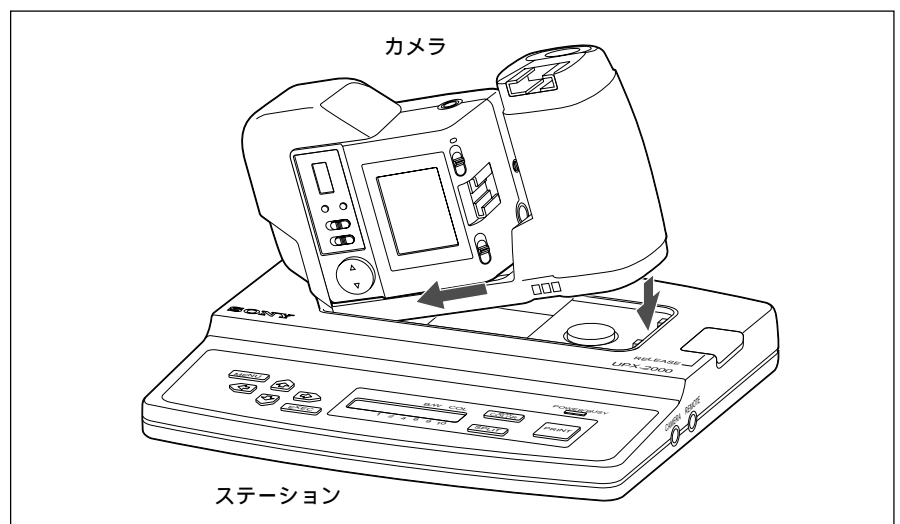
### ステーションとプリンターを接続する



### ステーションとカメラを接続する

カメラ撮影終了後、プリントの際に、カメラをワンタッチでステーションに取り付けて使うことができます。また、カメラを直接ステーションに取り付けず、ケーブルで接続して使うこともできます。

#### ステーションへのカメラの取り付け



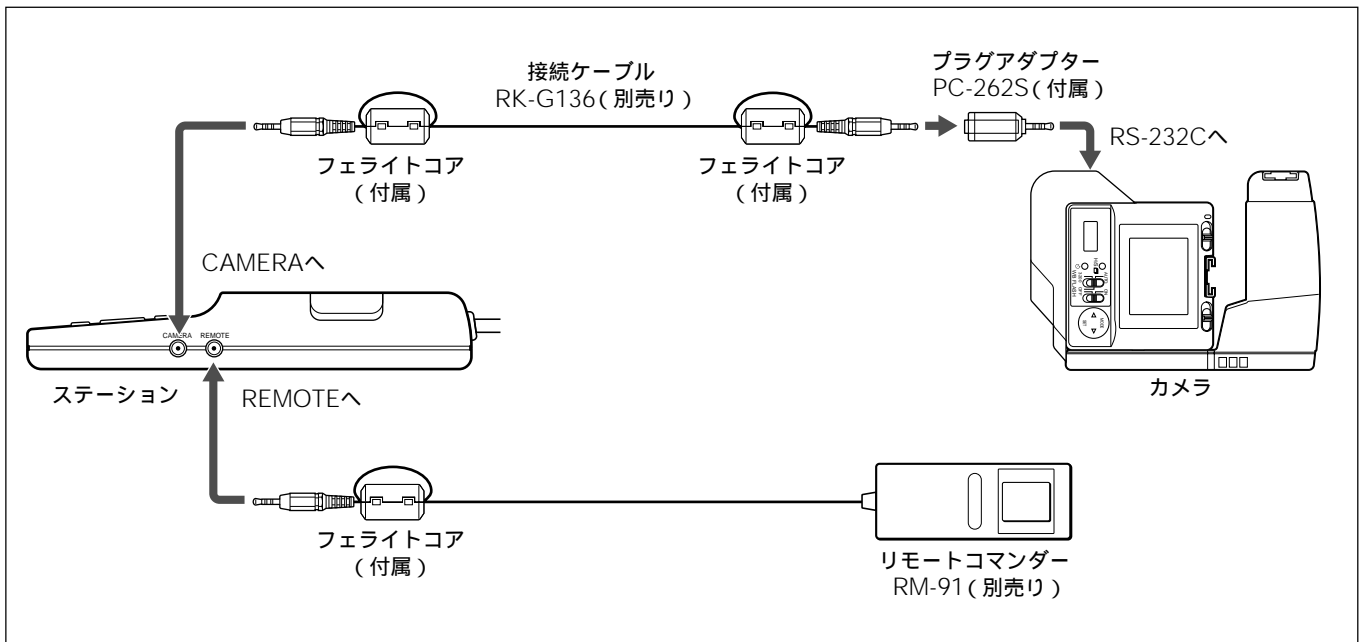
### ケーブルを使ったカメラとステーションの接続

カメラとステーションをケーブルを使って接続することができます。別売りの接続ケーブル RK-G136(ステレオミニプラグ、3.5mm、1.5m)と付属のプラグアダプター PC-262Sを使って、カメラのRS-232C端子とステーションのCAMERA端子をつなぎます。

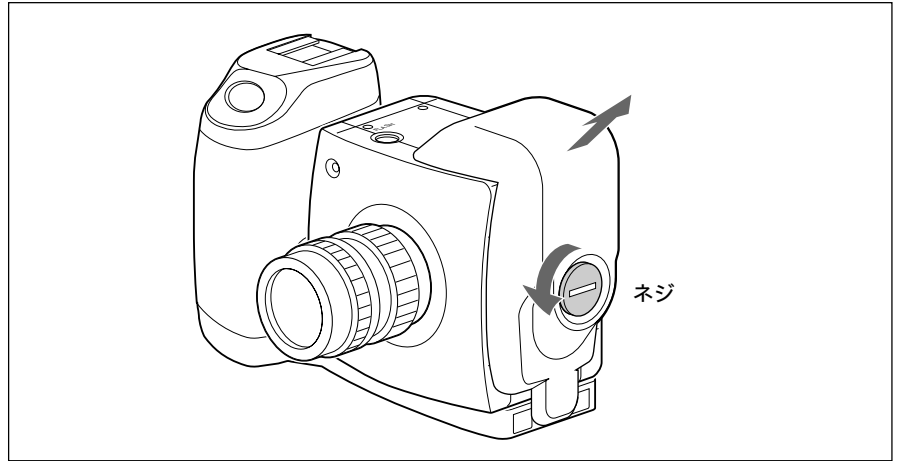
接続の前には、カメラのケーブルカバーを外し、RS-232C端子にすでに接続されているプラグを外してから、ケーブルカバーを元の位置に取り付けておく必要があります。こうしておけば、プラグアダプター PC-262Sを取り付けた接続ケーブル RK-G136を、ケーブルカバーの穴を通してつなぐことができます。

ステーションから離れた位置でプリント操作をしたいときは、別売りのリモートコマンダー RM-91をご使用ください。

どちらの場合も、接続ケーブルのプラグ寄りの位置に、下図のように付属のフェライトコアを取り付けてください。



ケーブルカバーを取り外す / 取り付ける



取り外しかた

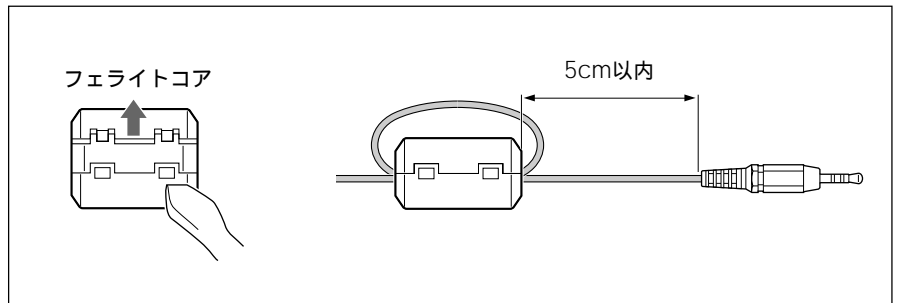
- 1** ケーブルカバーのネジを左に回して外す。
- 2** ケーブルカバーを外す。

取り付けかた

- 1** 外したプラグが端子の穴をふさぐ位置に来ないように気を付けながら、ケーブルカバーを元の位置に戻す。
- 2** 外したネジを、ケーブルカバーの穴を通してカメラ底面のネジ穴にまっすぐに差し込んでから右に回し、カバーを固定する。

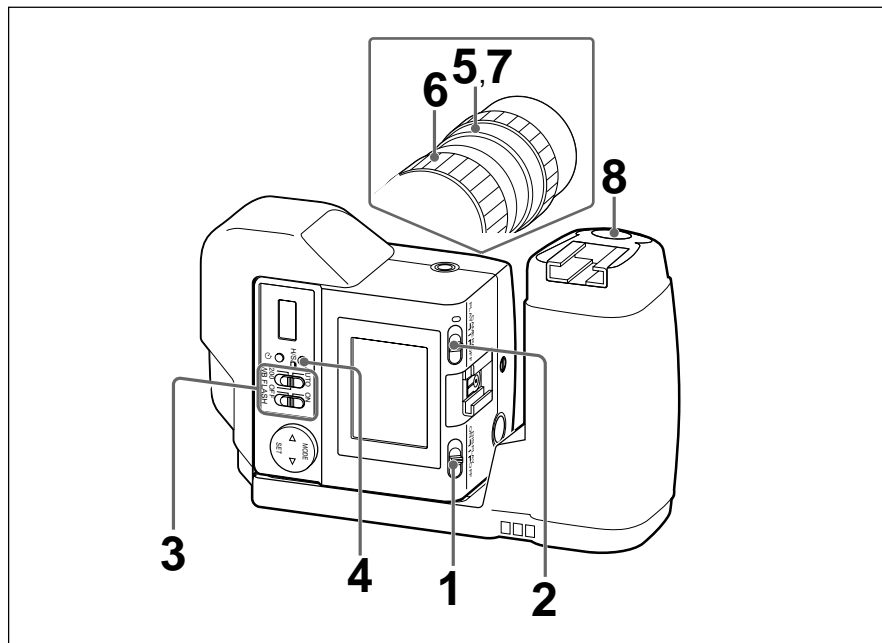
フェライトコアの取り付けかた

ドライバーなどを使ってフェライトコアのロックを外す。フェライトコアの位置を固定するために、下図のようにケーブルを1回巻き付けてからロックする。





## 撮影する



- 1** DISPLAYスイッチをONにする。
- 2** PLAY/CAMERA/OFFスイッチをCAMERAにする。  
録画ランプが点灯します。
- 3** FLASHスイッチとWBスイッチを、撮影条件に合わせて設定する。  
ストロボ撮影をするとき：FLASHスイッチをONにする。撮影時の色温度は5400Kになります。  
ストロボ撮影しないとき：FLASHスイッチをOFFにして、WBスイッチをAUTOまたは3200にする。
- 4** 撮影モードボタンを繰り返し押して、Hi（高解像度）モードにする。
- 5** レンズの絞りリングをC（クローズ）の位置から回して、絞りを開ける。  
絞りを1.4に合わせておくと、ピントが合わせやすくなります。
- 6** カメラを被写体に向け、カメラの液晶画面でモニターしながら構図を決め、焦点リングを回してピントを合わせる。  
焦点リング上の距離表示は目安であり、レンズと被写体間の実際の距離とは異なります。
- 7** レンズ絞りを調整する。
- 8** カメラのレリーズボタンを押す。  
撮影した画像を内蔵のメモリーに記録中は、録画ランプがゆっくりと点滅します。

撮影が終了したら

カメラの電池を消耗させないために、PLAY/CAMERA/OFFスイッチをOFFにしてください。

---

## セルフタイマーを使って撮影する

- 1** DISPLAYスイッチをONにする。
- 2** PLAY/CAMERA/OFFスイッチをCAMERAにする。  
録画ランプが点灯します。
- 3** FLASHスイッチとWBスイッチを、撮影条件に合わせて設定する。  
ストロボ撮影をするとき：FLASHスイッチをONにする。撮影時の色温度は5400Kになります。  
ストロボ撮影しないとき：FLASHスイッチをOFFにして、WBスイッチをAUTOまたは3200にする。
- 4** 撮影モードボタンを繰り返し押して、Hi(高解像度)モードにする。
- 5** レンズの絞りリングをC(クローズ)の位置から回して、絞りを開ける。  
絞りを1.4に合わせておくと、ピントが合わせやすくなります。
- 6** カメラを被写体に向け、カメラの液晶画面でモニターしながら構図を決め、焦点リングを回してピントを合わせる。  
焦点リング上の距離表示は目安であり、レンズと被写体の間の実際の距離とは異なります。
- 7** レンズ絞りを調整する。
- 8** セルフタイマーボタンを押す。  
操作画面でセルフタイマーマークが点滅します。
- 9** カメラのレリーズボタンを押す。  
セルフタイマーランプが約7秒間点灯し、次に約3秒間点滅してからシャッターが切れます。シャッターが切れると、セルフタイマーランプが消えます。撮影画面のセルフタイマーマークは消灯します。

セルフタイマー撮影を一時的に中断するには

シャッターが切れる前にレリーズボタンを押すとセルフタイマー動作が一時的に中断します。

撮影が終了したら

カメラの電池を消耗させないために、PLAY/CAMERA/OFFスイッチをOFFにしてください。

## ストロボを使って撮影する

ご使用になるストロボの取扱説明書も併せてご覧ください。

- 1 カメラのストロボシューにストロボを取り付ける。
- 2 ストロボのシンクロ(同期)コードをカメラのFLASH端子に接続する。
- 3 カメラのFLASHスイッチをONにする。
- 4 レンズの絞りを開け、カメラの液晶画面でモニターしながら構図を決め、焦点リングを回してピントを合わせる。  
絞りを1.4に合わせておくと、ピントが合わせやすくなります。
- 5 ストロボのガイドナンバー(GN)ならびに被写体・レンズ間の距離に合わせて絞りを調整する。  
ストロボでマニュアル(手動)撮影するとき: 下表を参考にして、絞りを調整する。  
ストロボでオート(自動)撮影するとき: ストロボの取扱説明書に記載されている自動撮影時の絞り設定の表を参考にして、絞りを調整する。この場合、本システムのカメラはISO160となります。
- 6 カメラのレリーズボタンを押す。

ご使用になるストロボについて

- ・ホットシューしか持たないストロボは、使用できません。
- ・絞り値が5.6付近に設定できるストロボのご使用をお勧めします。ストロボのGNと絞り値の関係については、下表「ストロボのGNに合わせた絞り値の設定」をご覧ください。
- ・高い絞り値(例:F11)での撮影の場合、カメラの液晶画面が暗くなりすぎて被写体が見えにくくなる場合があります。このときは、デフューザーを使用するなどしてストロボの光量を落とし、絞りを開けてください。
- ・ご使用になるストロボにより、プリント画の色調が異なることがあります。メニュー操作によりプリント画の画質調整を行ってください(42ページ)

ガイドナンバーについて

ガイドナンバー(GN)は、ストロボの光量を実用的に表した値です。

GN、被写体・レンズ間の距離、絞り値は、以下の関係式で表すことができます。

$$GN = F \times d (F = \text{絞り値}, d = \text{被写体・レンズ間の距離})$$

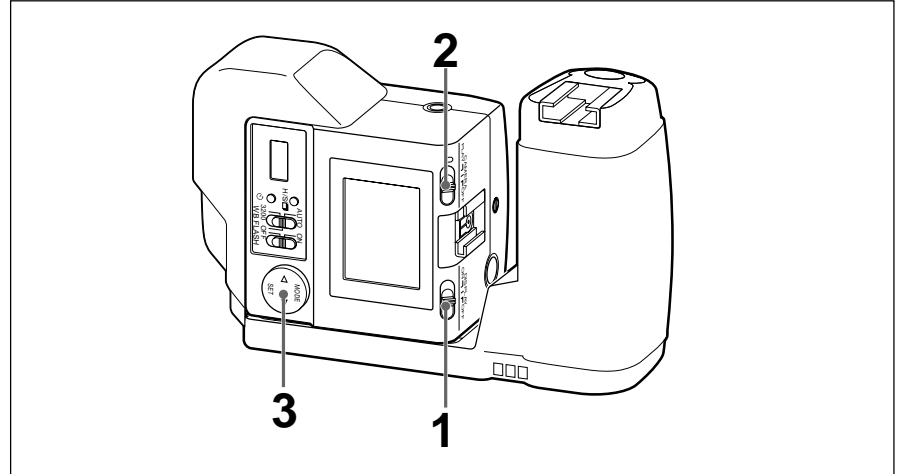
ストロボのGNに合わせた絞り値の設定

GN	被写体・レンズ間の距離		
	1.1m	1.6m	2.2m
14	16	11	8
10	11	8	5.6
7	8	5.6	4
5	5.6	4	2.8

例えば、GN14のストロボをご使用になるときは、被写体・レンズ間の距離は1.6m、絞りは11に設定します。

## 撮影した画像を再生する

カメラに記録した画像を、液晶画面で見ることができます。



- 1** DISPLAYスイッチをONにする。
- 2** PLAY/CAMERA/OFFスイッチをPLAYにする。  
撮影した画像が液晶画面に表示されます。
- 3** モードボタンの◀または▶を押す。  
表示される画像がひとつ前または後ろに切り換わります。

## 9画面マルチ再生をする

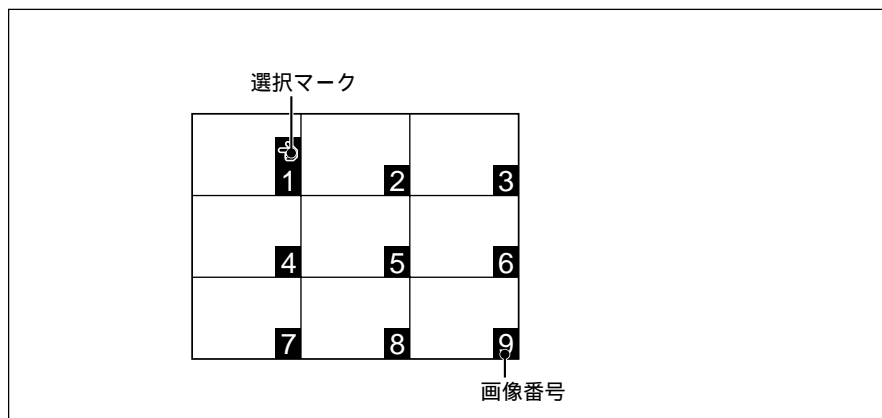
カメラに記録している画像から、9つの画像を同時に液晶画面に表示することができます。また、その中から1枚の画像を選んで、大きく表示することもできます。

- 1** DISPLAYスイッチをONにする。
- 2** PLAY/CAMERA/OFFスイッチをPLAYにする。  
撮影した映像が液晶画面に表示されます。
- 3** モードボタンのMODEを1回押す。  
液晶画面にMULTI表示が出ます。
- 4** モードボタンの◀または▶を押す。  
9画面マルチ表示になります。  
◀または▶を押すたびに、表示される画像が前または後ろの9画面に切り換わります。

9画面からひとつの画面を大きく表示する

**1** モードボタンのSETを押す。

選択マークが表示されます。



**2** モードボタンの◀または▶を押して、大きく表示したい画面に選択マークを合わせる。

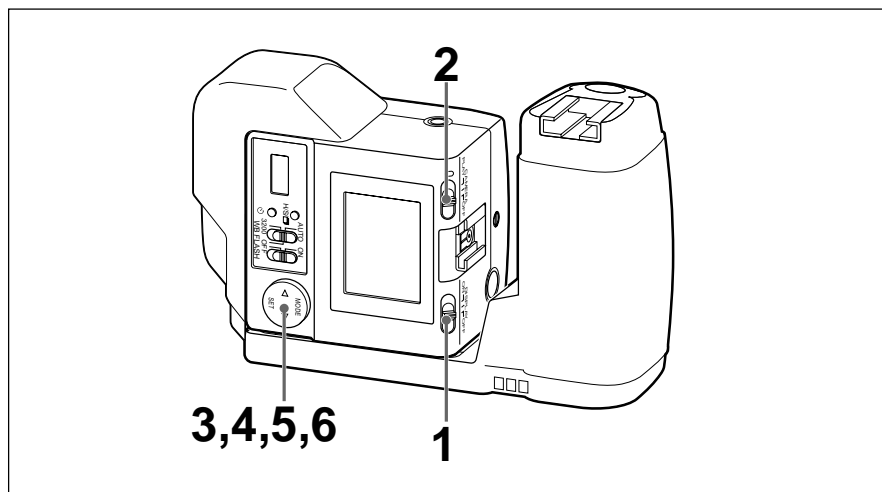
**3** モードボタンのSETを押す。

選択した画像が画面いっぱいに表示されます。

## 画像を消去する

不要になった画像を消去することができます。画像の消去には、1枚ずつ消去する方法とすべての画像を一度に消去する方法があります。

1枚ずつ消去するには



- 1** DISPLAYスイッチをONにする。
- 2** PLAY/CAMERA/OFFスイッチをPLAYにする。  
再生画像が液晶画面に表示されます。
- 3** モードボタンの◀または▶を押し、消去したい画像を選択する。  
9画面マルチ再生でさがすと、素早く希望の画面をさがすことができます。
- 4** モードボタンのMODEを3回押す。  
液晶画面にERASE表示が出ます。
- 5** モードボタンのSETを押す。  
液晶画面にONE/ALL表示が出て、ONE表示の下に選択マークが表示されます。
- 6** モードボタンのSETを押す。  
ERASING表示が出て、手順3で選んだ画像が消去されます。

続けて消去するときは、手順3、5、6を繰り返します。

消去を中止するには  
手順4、5でモードボタンのMODEを、ERASE表示が消えるまで押します。

---

1度に全部消去するには

- 1** DISPLAYスイッチをONにする。
- 2** PLAY/CAMERA/OFFスイッチをPLAYにする。  
再生画像が液晶画面に表示されます。
- 3** モードボタンのMODEを3回押す。  
液晶画面にERASE表示が出ます。
- 4** モードボタンのSETを押す。  
液晶画面にONE/ALL表示が出ます。
- 5** モードボタンの◀または▶を押し、選択マークをALLの下に移動する。

## 6 モードボタンのSETを押す。

ERASE ALL(消去の確認)表示が出ます。

## 7 モードボタンのSETを押す。

ERASING 表示が出て、プロテクトされていない画像がすべて消去されます。  
全ての画像が消去された場合は、画面が青くなります。  
プロテクトされた画像がある場合は、その画像とERASE 表示が出ます。

消去を中止するには  
手順4、5でモードボタンのMODEを、ERASE 表示が消えるまで押します。

消去を終了する  
モードボタンのMODEを押し、ERASE 表示を消します。

## 消去を禁止する(プロテクト)

撮影済みの画像を誤って消去しないように、消去禁止にすることができます。

### 1 DISPLAYスイッチをONにする。

### 2 PLAY/CAMERA/OFFスイッチをPLAYにする。

再生画像が液晶画面に表示されます。

### 3 モードボタンの◀または▶を押し、消去禁止にしたい画像を選択する。

### 4 モードボタンのMODEを2回押す。

液晶画面にPROTECT 表示が出ます。

### 5 モードボタンのSETを押す。

表示している画像が消去禁止になり、プロテクトマークが表示されます。

続けて消去禁止にするときは、手順3、5を繰り返します。  
モードボタンのMODEを押すと、通常の再生になります。

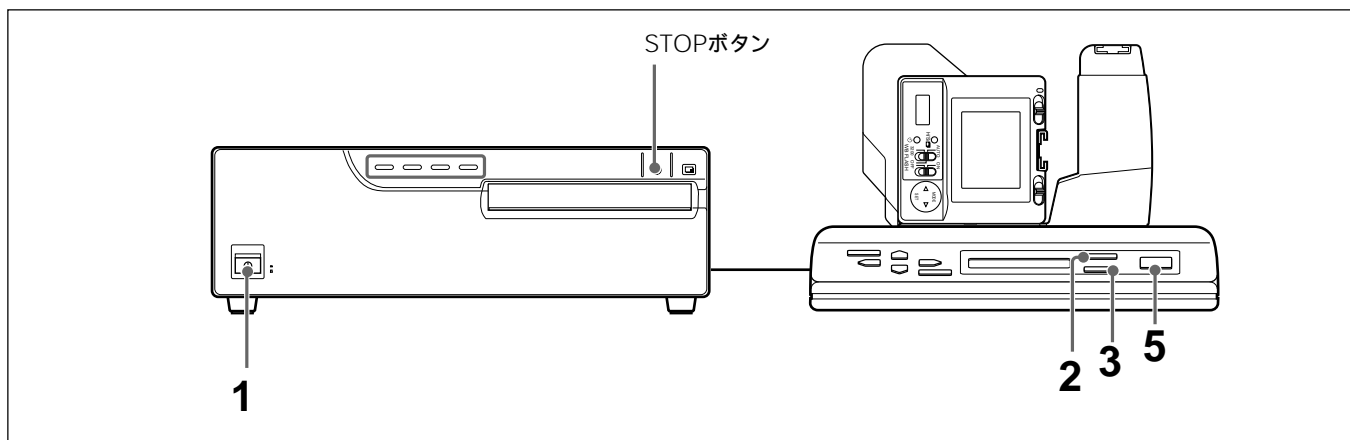
## 消去禁止を解除する

消去禁止にした画像を消去したいときは、解除したい画像を選び、手順4、5を実行して、プロテクトマークを消します。消去禁止が解除されます。

## プリントする

プリントを始める前に

- ・インクリボンとプリント紙は正しい組み合わせでセットされていますか。(28 ページ)
- ・給紙トレイ、排紙トレイ、インクリボンカートリッジは正しく取り付けられていますか。(23 ~ 28 ページ)



- 1** プリンターのPOWER ボタンを押して電源を入れる。  
 PRINT、ALARM、RIBBON およびPAPERランプがすべて一度に点灯し、次に消灯します。プリンターはスタンバイ状態になります。  
 ステーションの液晶画面に約8秒間、“DIGITAL PRINTING SYSTEM UPX-2000”のメッセージが表示され、消えます。
- 2** ステーションのB/W / COLORボタンを押して、白黒(B/W)またはカラー(COLOR)を選ぶ。
- 3** ステーションのSPLITボタンを押して、プリント画像の分割数(1、2、4、6、9、16)を選ぶ。
- 4** 必要ならば、プリント画の画質を調整する。  
 詳しくは「プリント画の画質を調整する」(42 ページ)をご覧ください。
- 5** ステーションのPRINT ボタンを押す。  
 ステーションのPOWER / BUSYランプが赤く点滅します。また、液晶画面に“TRANSFERRING IMAGE ..”、“DO NOT REMOVE CAMERA”と表示されます。このメッセージが表示されている間、カメラの液晶画面から画像が消えますが、カメラからステーションへのデータ転送が終了すると、再び自動的に表示されます。この間はカメラをステーションから取り外さないでください。  
 カメラからステーションに画像が転送されると、ステーションのPOWER / BUSYランプが赤く点灯し、“PROCESSING IMAGE...”が表示されます。

約2分半後にプリント画が排出されます。使用しているプリント紙により、プリント時間は多少異なります。



カメラの画像を再度プリントするには  
ステーションのPRINTボタンを押します。このとき、白黒 / カラー ( B / W / COLOR ) や画  
像の分割 ( SPLIT ) の設定や、画質の調整をすることができます。

#### **ご注意**

- プリント中の用紙が見えますが、途中でプリント紙を無理に引き出したりしないでください。
- プリントの途中で電源を切らないでください。紙づまりの原因になります。
- 排紙トレイにプリント紙を10枚以上ためないでください。紙づまりの原因になります。

プリンターへのデータ転送やプリントを途中でやめるには  
プリンターのSTOPボタンを押すと、現在プリント中のものはすぐに排出されます。排出後、  
スタンバイ状態に戻ります。

#### **ご注意**

ステーションの液晶画面に“ TRANSFERRING IMAGE.. ”のメッセージが表示されている  
間は、プリントを中止することはできません。

プリントできないとき

次のような場合は、プリントできません。

- ALARM、PAPER、RIBBONランプが点灯しているとき
- ステーションの液晶画面にメッセージが表示されているとき

詳しくは、「プリンターのフロントパネルのランプについて」(57ページ)または「ステーションの液晶  
画面に表示されるエラーメッセージ」(56ページ)をご覧ください。

ラミネートプリントパックIPPM-200Jをお使いの場合

プリンターはプリント動作を始める前、プリント可能な温度になるまで感熱ヘッドをプリヒート  
します。電源を入れた直後のプリントなど、プリンターの感熱ヘッドが冷えている状態で  
PRINTボタンを押すと、プリヒートの間、PRINTランプが点灯し、プリント可能な状態にな  
ると、自動的にプリントが始まります。

#### **ご注意**

プリント画を保存するときは

- 直射日光の当たるところや、温度や湿度の高いところに置かないでください。色が退色  
する場合があります。
- プリント画に粘着テープをはったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなどの可塑性を含  
むものに触れさせないでください。
- アルコール類や揮発性の有機溶剤などに触れないようにして保存してください。

# プリント画の画質を調整する - メニュー操作

プリント画の色調 (RED / GREEN / BLUE)、グレー (GRAY)、階調 (DARK / LIGHT) の3種類の色調整、および画質 (SHARPNESS)、プリント画のトーン (GAMMA) の調整がメニュー操作でできます。

調整した内容は、カラー (COL) と白黒 (B/W) に対してそれぞれ SETTING 番号 1、2、3 の3種類、計6種類登録しておくことができます。記憶された調整値は電源を切っても変わりませんので、記憶した状態を呼び出してその調整値でプリントすることができます。これは、異なる照明条件で撮影した画像をプリントするときに便利です。

調整後プリントして、調整結果を確認し、必要ならば再度調整します。

カラーの場合は、調整の目安となるカラーガイド (色合い調整用または明暗トーン調整用) をプリントすることができます。

お買い上げいただいた時点では、SETTING 番号 1、2、3 の設定値はすべてセンター値「0」です。

## 項目を設定し、設定値を登録する

- 1 ステーションの MENU ボタンを押す。

“LOAD SETTING:” が液晶画面に表示されます。

- 2 ◀または▶ ボタンを押して画面を切り換える。

- 3 ◀と▶ ボタンを押して、それぞれの項目の値を設定する。

詳しくは、「調整」(46ページ)をご覧ください。

- 4 ▶ボタンまたは EXEC ボタンを押して、“SAVE SETTING:” を液晶画面に表示させる。

### ご注意

項目の値が変更されていないときには、EXEC ボタンを押しても “SAVE SETTING:” は表示されません。

- 5 ◀または▶ ボタンを押して、登録する SETTING 番号を選ぶ。

- 6 EXEC ボタンを押す。

調整した値が登録されます。

カラーガイドをプリントする

B/W / COLOR ボタンで COL を選択している場合は、上記の手順 6 で “COLOR GUIDE:” が液晶画面に表示されます。◀または▶ ボタンを押してプリントしたいカラーガイドを選択し、EXEC ボタンを押します。

CANCEL: 初期画面に戻ります。カラーガイドはプリントされません。

RGB: 色合い (RGB) 調整用カラーガイドがプリントされます。

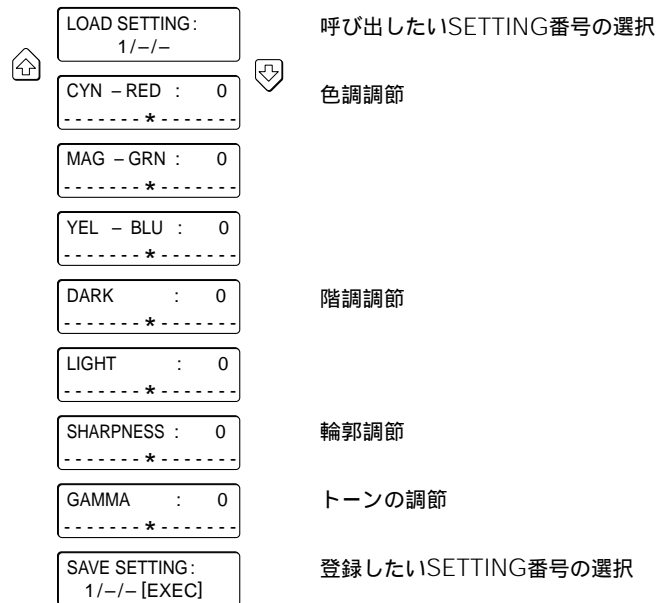
DLGm: 明暗トーン (DARK、LIGHT、GAMMA) 調整用カラーガイドがプリントされます。

カラーガイドについて詳しくは「カラーガイド機能」(47ページ)をご覧ください。

## メニュー操作画面の構成

メニュー操作画面は、次のように変わります。

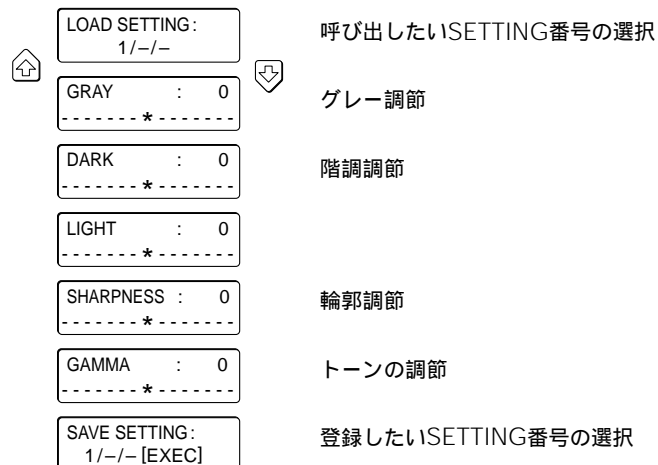
B/W / COLORボタンでCOL(カラー)を選んでいるとき：



設定を変更してEXECボタンを押すと



B/W / COLORボタンでB/W(白黒)を選んでいるとき：



調整値を登録せずにメニュー操作をやめるには

MENU ボタンを押します。

登録した調整値を呼び出す

- 1 MENU ボタンを押す。
- 2 使用したい調整値が記憶されているSETTING番号を、 $\leftarrow$ または $\rightarrow$ ボタンを押して選ぶ。
- 3 EXEC ボタンを押す。

登録されている調整値がカラーの場合は、“COLOR GUIDE:”が表示されます。  
“CANCEL”を選んで再度EXEC ボタンを押します。

調整した値が呼び出されます。

ステーションのPRINT ボタンを押せば、選んだSETTING番号の調整値で画像がプリントされます。

“COLOR GUIDE:”が表示されているときに、“RGB”または“DLGm”を選んでEXEC ボタンを押すと、カラ - ガイドを印刷することができます。

カラーガイドについて詳しくは「カラーガイド機能」(47 ページ)をご覧ください。

あるSETTING番号に登録した内容をほかのSETTING番号にコピーする

- 1 MENU ボタンを押す。
- 2 コピーしたい内容が記憶されているSETTING番号を $\leftarrow$ または $\rightarrow$ ボタンを押して選ぶ。
- 3  $\rightarrow$ ボタンを“SAVE SETTING:”が表示されるまで押す。
- 4 調整値を登録する先のSETTING番号を $\leftarrow$ または $\rightarrow$ ボタンを押して選ぶ。
- 5 EXEC ボタンを押す。

登録する調整値がカラーの場合は、“COLOR GUIDE:”が表示されます。  
“CANCEL”を選んで再度EXEC ボタンを押します。

手順2で選んだ設定値が手順4で選んだSETTING番号に登録されます。

“COLOR GUIDE:”が表示されているときに、“RGB”または“DLGm”を選んでEXEC ボタンを押すと、カラ - ガイドを印刷することができます。

カラーガイドについて詳しくは「カラーガイド機能」(47 ページ)をご覧ください。

---

## SETTING番号に登録した内容を修正する

- 1 MENU ボタンを押す。
- 2 修正したい内容が記憶されているSETTING 番号を ◀または▶ ボタンを押して選ぶ。
- 3 ◀または▶ ボタンを押して調整値を変更したい項目を表示させ、◀または▶ ボタンを押して値を変更する。
- 4 ▶ ボタンまたはEXEC ボタンを押して“ SAVE SETTING: ”を表示させる。

### **ご注意**

項目の値が変更されていないときには、EXEC ボタンを押しても“ SAVE SETTING: ”は表示されません。

- 5 調整値に登録する先のSETTING 番号を ◀または▶ ボタンを押して選ぶ。
- 6 EXEC ボタンを押す。

修正した値が保存されます。

修正した値がカラーの場合は、“ COLOR GUIDE: ”が表示されます。“ RGB ”または“ DLGm ”を選んでEXEC ボタンを押すと、カラ - ガイドが印刷されます。  
“ CANCEL ”を選んでEXEC ボタンを押すと、カラ - ガイドは印刷されず、初期画面に戻ります。

カラーガイドについて詳しくは「カラーガイド機能」(47 ページ)をご覧ください。

## 調整

### カラー画像の色調 ( RED / GREEN / BLUE ) の調節

調整する項目	画像の色調	押すボタン	調節
CYN-RED	赤味がかかった画像にする。 青味がかかった感じを除く。	⇨	RED の方向
	シアン (水色) がかった画像にする。 空や背景の青を濃くする。	⇨	CYN (CYAN の略) の方向
MAG-GRN	緑がかかった画像にする。 肌の赤やピンクを除く。	⇨	GRN (GREEN の略) の方向
	マゼンダ (ピンク) がかった画像にする。 唇の赤やピンクを濃くする。	⇨	MAG (MAGENTA の略) の方向
YEL-BLU	青味がかかった画像にする。 黄色味を除く。	⇨	BLU (BLUE の略) の方向
	黄色味がかかった画像にする。 黄色を濃くする。	⇨	YEL (YELLOW の略) の方向

### 白黒画像のグレー ( GRAY ) の調節

調節	押すボタン
赤味がかかった画像を通常の白黒画像に調節する	⇨ ( マイナス ) の方向
黄色味がかかった画像を通常の白黒画像に調節する	⇨ ( プラス ) の方向

### 階調 ( DARK / LIGHT ) の調節

調整する項目	画像の階調	押すボタン	調節
DARK	画像の暗い部分を調節する。	⇨	暗い部分の階調が強調される
		⇨	暗い部分の階調が弱まる
LIGHT	画像の明るい部分を調節する。	⇨	明るい部分の階調が強調される
		⇨	明るい部分の階調が弱まる

### 輪郭 ( SHARPNESS ) の調節

調節	押すボタン
輪郭をぼかす	⇨ ( マイナス ) の方向
中間	0
輪郭を強調する	⇨ ( プラス ) の方向

### トーン ( GAMMA ) の調節

調節	押すボタン
中間調を明るくプリントするとき ( 軟調 )	⇨ ( マイナス ) の方向
普通	0
中間調を暗くプリントするとき ( 硬調 )	⇨ ( プラス ) の方向

## カラーガイド機能

カラーガイドは、7通りの画質の画像を1枚のプリント紙に配置してプリントする機能です。プリント紙の中央にはメニュー操作で画質を設定した画像があり、その周りには中央の設定値に対して画質を6通りに変化させた画像があります。

カラーガイドには色合い調整用と明暗トーン調整用の2種類がありますので、画質調整の目安としてお使いください。

### ご注意

- カラーガイドを利用できるのは、ステーションでカラー(COLOR)を選んでいる場合のみです。
- 輪郭(SHARPNESS)のガイドはありません。

カラーガイドを画質調整に利用するには次のようにします。

プリント画の7通りの画像を比較して、最も希望に近い画像を探します。

その画像が満足できる画質であれば、その画像の下に表示されている設定値をメニュー操作で設定します。

満足できる画像がない場合には、希望に近い画像の設定値を参考にして次の設定値を設定します。再度カラーガイドをプリントすると、新しい設定値を中心にした7通りの画質でプリントされますので、希望の画質に近づけていくことができます。

このようにカラーガイドを利用すれば、より短い時間で希望の画質に調整することができ、インクリボンとプリント紙の節約にもなります。

色合い調整カラーガイド

まず、調整したい画像をカメラの液晶画面に表示した状態で、カメラをステーションに接続します。ステーションのメニュー操作をして液晶画面に"COLOR GUIDE:"を表示します。"RGB"を選んでEXECボタンを押すと、液晶画面に"TRANSFERRING IMAGE..","DO NOT REMOVE CAMERA"と表示され、カメラからステーションへのデータ転送が始まります。そして、約2分半後に色合い調整カラーガイドが排出されます。

色合い調整カラーガイド(下図参照)の中央には、現在の設定値による画像が配置されています。その周りには6通りの異なった画質の画像が配置されます。これらの画像は、色合いに関する3種類の調整項目(CYN-RED、MAG-GRN、YEL-BLU)を、中央画の設定値に対してそれぞれ $\pm 3$ だけ増減した画質になっています。各画像の下には3項目の設定値が表示されており、調整可能な範囲は $\pm 7$ です。

色合い調整の操作例

現在のメニュー設定値が(CYN-RED、MAG-GRN、YEL-BLU)=(0、0、0)の場合：中央画の設定値は(0、0、0)です。

周囲の6画像は下図(左)のように、それぞれ $\pm 3$ した値でプリントされます。

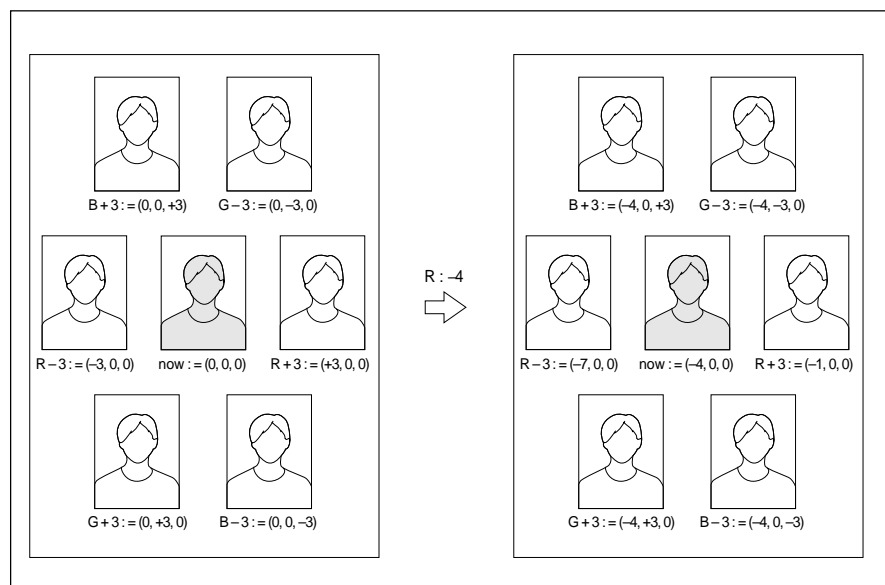
この中で(-3、0、0)の画像が希望に近い画質であるが、もう少し赤みを減らしたいという場合：メニュー設定で例えば(-4、0、0)と設定し、再度カラーガイドをプリントします。

今度は中央画の設定値が(-4、0、0)となります。

周囲の6画像は下図(右)のように、(-4、0、0)からそれぞれ $\pm 3$ した値でプリントされます。

この中で満足できる画像が見つければ、その値をメニュー設定して調整完了です。

満足できる画像がない場合は、再度メニュー設定をしてカラーガイドをプリントしてください。





## 明暗トーンカラーガイド

まず、調整したい画像をカメラの液晶画面に表示した状態で、カメラをステーションに接続します。ステーションのメニュー操作をして液晶画面に"COLOR GUIDE:"を表示します。"DLGm"を選んでEXECボタンを押すと、液晶画面に"TRANSFERRING IMAGE..","DO NOT REMOVE CAMERA"と表示され、カメラからステーションへのデータ転送が始まります。そして、約2分半後に明暗トーン調整カラーガイドが排出されます。

明暗トーン調整カラーガイド(下図参照)の中央には、現在の設定値による画像が配置されています。その周りには6通りの異なった画質の画像が配置されます。これらの画像は、色合いに関する3種類の調整項目(DARK、LIGHT、GAMMA)を、中央画の設定値に対してそれぞれ $\pm 3$ だけ増減した画質になっています。各画像の下には3項目の設定値が表示されており、調整可能な範囲は $\pm 7$ です。

### 明暗トーン調整の操作例

現在のメニュー設定値が(DARK、LIGHT、GAMMA)=(0、0、0)の場合:

中央画の設定値は(0、0、0)です。

周囲の6画像は下図(左)のように、それぞれ $\pm 3$ した値でプリントされます。

この中で(-3、0、0)の画像が希望に近い画質であるが少し行き過ぎという場合:

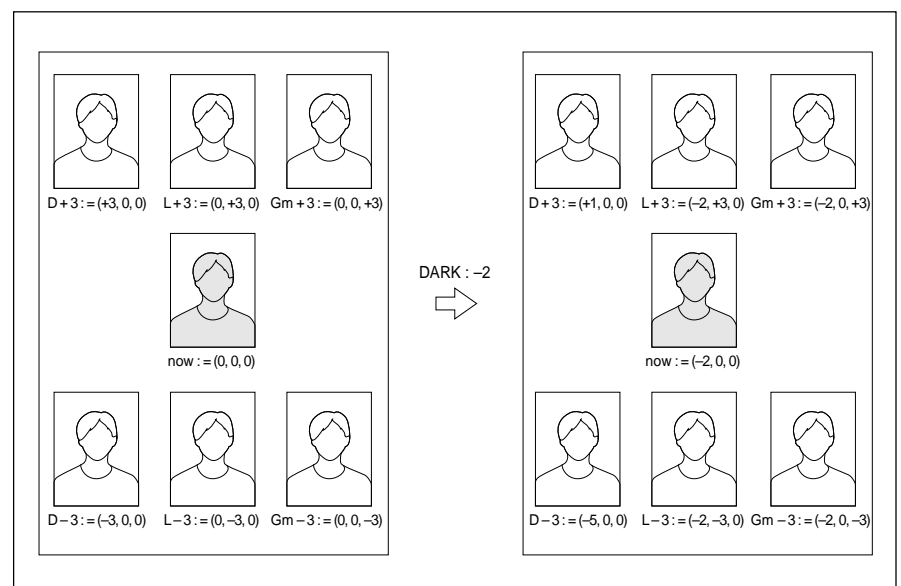
メニュー設定で例えば(-2、0、0)と設定し、再度カラーガイドをプリントします。

今度は中央画の設定値が(-2、0、0)となります。

周囲の6画像は下図(右)のように、(-2、0、0)からそれぞれ $\pm 3$ した値でプリントされます。

この中で満足できる画像が見つければ、その値をメニュー設定して調整完了です。

満足できる画像がない場合は、再度メニュー設定をしてカラーガイドをプリントしてください。



# 本システムの性能を保持するために

本システムの性能を保持するために、「安全のために」(2ページ)「**△**警告」(4ページ)「**△**注意」(5ページ)「電池についての安全上のご注意」(7ページ)と併せてご覧ください。

## カメラ

### 使用・保存場所

次のような場所での使用および保管は故障の原因となりますので、避けてください。

- 極端に暑い所や寒い所(動作温度は0 ~ +40 )
- 直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近く
- 湿気、ほこりの多い所
- 雨のあたる所
- 激しく振動する所
- 強い磁気を発するものの近く
- 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く

### 放熱

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がリ、故障の原因となります。

### 輸送

輸送する時は、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

### ためし撮りについて

必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影されていることを確認してください。

### 著作権について

あなたがデジタルスチルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどのものであっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

## プリンター

### 使用するときのご注意

- 長い間ご使用にならないときは、プリンターの電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- プリンターを輸送する際は、付属品を取り外してください。付属品をつけたまま持ち運ぶと故障の原因になることがあります。

### 結露について

湿度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、プリンターの内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態でプリンターを使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、プリンターの電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

## お手入れ

- お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。
- カメラのレンズの表面に付着したごみやほこりは、プロアーで払ってください。
- 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取った後、からぶきしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

# 主な仕様

## カメラ

一般

**電源** ソニーリチウムバッテリー NP-F550または付属のACアダプター / チャージャーより供給

**消費電力** 3.7W

**動作温度** 0 ~ 40

**保存温度** - 20 ~ + 60

**動作湿度** 30% ~ 90% (非結露)

**保存湿度** 10% ~ 90% (非結露)

**最大外形寸法** 162 × 112 × 99mm (幅 × 高さ × 奥行き)  
グリップ、ケーブルカバー、レンズ含む

**質量** 約710g (グリップ、ケーブルカバー、レンズ含む)

システム

**形式** デジタルスチルカメラ (型)

**記録・再生方式** フレームデジタル記録再生

**データ圧縮伸長方式**

JPEG ベースライン方式によるデータ圧縮、伸長方式

**記録媒体** 内蔵4MBフラッシュメモリー

**映像素子** 1/3 インチ CCD 固体撮像素子、35万画素 (総画素数)

**撮影枚数** 30枚 (高解像度・マルチ画面連写1・2)、120枚 (標準解像度)

**消去方式** 1コマ消去、一括消去

**記録画像** 640 × 480 ピクセル (高解像度)  
320 × 240 ピクセル (標準解像度)

**ホワイトバランス** AUTO、3200K、5400K

**測光方式** 中央重点測光方式

**露出制御方式** 絞り優先シャッター可変プログラム露出制御

**シャッター** 1/4 ~ 1/10,000 秒  
1/250 秒 (ストロボ使用時)

**感度** ISO90 相当

**ファインダー** 液晶モニター  
2.0 インチ低温ポリシリコン TFT カラー液晶

**液晶画面画素数** 約110,000画素

**セルフタイマー** 作動時間約10秒

入出力端子

**NTSC MON 端子** 3.5mm (ミニジャック)  
1.0Vp-p, 75 不平衡、同期負、

コンポジットビデオ、  
NTSC カラーTV 方式  
バーストレベル 0.22 ± 0.04V  
シンクレベル 0.28 ± 0.05V

**RS-232C 端子** 2.5mm (ミニジャック)  
RS-232C シリアルポート (最大115.2kbps)

**DC8.4V IN 端子** DC8.4V

**RELEASE 端子** 3.5mm (ミニジャック)

## ステーション

**電源** DC6V (プリンターより供給)

**最大外形寸法** 222 × 36 × 205mm (幅 / 高さ / 奥行き)

**質量** 940g

## プリンター

**電源** AC100V ± 10%、50/60Hz

**消費電力** 最大180W (プリント時)

**動作温度** 5 ~ 35

**保管 / 輸送時温度**  
- 20 ~ + 60

**動作湿度** 20% ~ 80%

**保管 / 輸送時湿度**  
20% ~ 90%

**最大外形寸法** 約370 × 125 × 417mm  
(幅 / 高さ / 奥行き)

**質量** 約9.5kg (本体のみ)

**プリント方式** 昇華熱転写型

**プリント画素数** 1365 × 1024ドット、310dpi (フル画面時)

**プリント階調** 256階調処理 (イエロー、マゼンタ、シアン)

**プリント時間** 約100秒 (IPPM-200J 使用6分割時)

約50秒 (UPC-20S16 使用時)

**入力端子** AC IN (電源入力用)

**画像メモリ** 4Mbyte

**サーマルヘッド** 12.2ドット/mm (1024ドット)

---

## ACパワーアダプター / チャージャー

電源	AC100 ~ 240V、50/60Hz
定格入力容量	35VA (充電100V時) 39VA (カメラ100V時) 45VA (充電240V時) 49VA (カメラ240V時)
定格出力	カメラ動作時: DC8.4V、1.8A 充電時: DC8.4V、1.4A
動作温度	0 ~ +40
保存温度	-20 ~ +60
動作湿度	30% ~ 90% (非結露)
保存湿度	10% ~ 90% (非結露)
最大外形寸法	約56 × 44 × 107mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	約190g

---

## 別売りアクセサリ

ラミネートプリントバック IPPM-200J  
ステッカー16分割プリントバック UPC-20S16  
ステッカー4分割用プリントバック UPC-20S04  
ペーパーイジェクター UPZ-2000M  
接続コード RK-G136 (ステレオミニプラグ—ステレオミニプラグ、  
1.5m)  
リモートコマンダー RM-91

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

---

## 付属品

小型ペーパー用トレイ(1)  
大型ペーパー用トレイ(1)  
排紙トレイ(1)  
プリンター電源コード(1)  
3芯 2芯変換アダプター(1)  
マニュアルレンズ(1)  
ACパワーアダプター / チャージャー AC-V615(1)  
AC-V615用電源コード(1)  
ACパワーアダプター / チャージャー・カメラ接続用コード(1)  
リチウムバッテリー NP-F550(1)  
カメラディスプレイ用シール(5)  
フェライトコア(3)  
プラグアダプター PC-262S(1)  
保証書(1)  
取扱説明書(1)  
ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内(1)

# 故障とお考えになる前に

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

## 撮影

症状	原因 / 処置
シャッターボタンを押しても撮影ができない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• PLAY/CAMERA/OFF スイッチがCAMERAになっていない。 → PLAY/CAMERA/OFF スイッチをCAMERAにする。</li><li>• 撮影準備状態になっている(録画ランプが点滅している)。 → 録画ランプが点灯になるまで待ってから撮影する。</li><li>• 撮影可能枚数いっぱいになっている(録画ランプが速く点滅)。 → コントロールパネルの撮影可能枚数を確認し、不要な画像を消去してから撮影する。</li></ul>
フラッシュが光らない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• FLASH スイッチがOFFになっている。 → FLASH スイッチをON に設定にする。</li><li>• ストロボのコードがカメラに接続されていない。 → ストロボのコードをカメラのFLASH 端子に接続する。</li><li>• ストロボのバッテリーが消耗している。 → ストロボの取扱説明書を参照しながら、バッテリーを充電するか、新しいバッテリーと交換する。</li></ul>

## カメラの液晶画面

症状	原因 / 処置
撮影時、液晶画面に画像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• PLAY/CAMERA/OFF スイッチがOFFになっている。 → CAMERAにする。</li><li>• レンズの絞りがCになっている。 → 絞りをあける。</li><li>• カメラのDISPLAY スイッチがOFFになっている。 → ONにする。</li><li>• 画像データがステーションへ転送されている最中である。 → 転送が終わると自動的に画像が表示される。</li></ul>
再生画像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• PLAY/CAMERA/OFF スイッチがCAMERAになっている。 → PLAY/CAMERA/OFF スイッチをPLAYにする。</li></ul>
寒い所で使用すると、画像が尾を引いて見えることがある。 赤、青、緑などの輝点が点灯したままになることや、小さな黒点が見えることがある。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 液晶の性質による現象。 → 故障ではありません。</li></ul>

## 撮影画像

症状	原因 / 処置
画像がぼけている。	<ul style="list-style-type: none"><li>• ピントが合っていない。 → ピントを正しく合わせる。</li><li>• リリースボタンを押すときにカメラが動いた。 → カメラを正しく構え、リリースボタンを静かに押す。</li><li>• レンズが汚れていた。 → レンズをきれいにする。</li></ul>
画像が暗い。	<ul style="list-style-type: none"><li>• フラッシュを指などで覆っていた。 → カメラを正しく構え、フラッシュに指がかからないようにする。</li><li>• 被写体が遠くにあった。 → フラッシュ撮影可能範囲内で撮影する。</li><li>• 逆光で撮影した。 → フラッシュで撮影する。</li></ul>
画像が明るすぎる。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 被写体が明るすぎた。 → レンズの絞りを調整する。</li></ul>
室内で撮影した画像の色がおかしい。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 照明の影響を受けている。 → WB スイッチを正しく設定する。</li></ul>
画像の一部が欠けている。	<ul style="list-style-type: none"><li>• レンズに指などがかかっていた。 → カメラを正しく構え、レンズに指などがかからないようにする。</li></ul>

## プリンター / ステーション

症状	原因 / 処置
プリントできない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 接続が正しくされていない。 → 接続を確認する。(30、31 ページ)</li><li>• インクリボンカートリッジまたはプリント紙が取り付けられていない。 → 取り付ける。(23 ~ 28 ページ)</li></ul>

ステーションの液晶画面に表示されるエラーメッセージ

異常が起これば、ステーションのPOWER/BUSYランプが赤く点灯し、液晶画面にエラーメッセージが表示されます。

ステーションの液晶画面	意味 / 対処
CHECK RIBBON	<ul style="list-style-type: none"> <li>不良状態のインクリボンカートリッジが取り付けられている。 → 正しいインクリボンカートリッジを取り付ける。(23ページ)</li> <li>インクリボンが切れた。 → セロハンテープなどでつなげる。(26ページ)</li> <li>本機では使用できないインクリボンカートリッジが取り付けられている。 → 正しいインクリボンカートリッジを取り付ける。(28ページ)</li> </ul>
PAPER JAMMING	<p>プリンター内部で紙づまりが起きた。 → つまったプリント紙を取り除く。(58ページ)</p>
SENSOR TROUBLE	<p>センサーのトラブルが起きた。 → お買い上げ店またはお近くのソニーのご相談窓口にご連絡ください。</p>
END OF RIBBON	<p>インクリボンカートリッジが終わりになった。 → 新しいインクリボンカートリッジを取り付ける。(23ページ)</p>
INSERT RIBBON	<p>インクリボンカートリッジが取り付けられていない。 → 取り付ける。(23ページ)</p>
SET PAPER	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリント紙がない。 → プリント紙を入れる。(26ページ)</li> <li>給紙トレイが取り付けられていない。 → 取り付ける。(26ページ)</li> </ul>
INSERT RIBBON SET PAPER	<p>インクリボンカートリッジとプリント紙が取り付けられていない。 → インクリボンカートリッジを取り付け、プリント紙を入れる。 (23～28ページ)</p>
REMOVE PRINTS	<p>排紙トレイにプリント済みのプリント紙がたまった。 → たまったプリント紙を取り除く。(58ページ)</p>
REMOVE PAPER	<p>給紙トレイ付近で紙づまりが起きた。 → つまったプリント紙を取り除く。(58ページ)</p>
CLOSE COVER	<p>上ぶたが開いている。 → 上ぶたを閉じる。(59ページ)</p>
SET CAMERA	<p>カメラがステーションに正しく接続されていないか、カメラの電源が入っていない。 → カメラを正しく接続(30、31ページ)し、PLAY/CAMERA/OFFスイッチをPLAYにしてから、ステーションのPRINTボタンを押す。</p>
CAMERA ERROR	<p>カメラとの通信トラブルが起きた。 → カメラとプリンターの電源を入れ直す。</p>
LOW BATTERY	<p>電池が消耗している。</p>
PRESS [EXEC]	<p>→ 電池を充電する(19ページ)が充電済みの電池と交換する(20ページ)あるいはACパワーアダプター/チャージャー(21ページ)を使用する。液晶画面のメッセージを消し、通常の画面に戻すには、EXECボタンを押す。</p>



## プリンターのフロントパネルのランプについて

エラーが起きるとPRINT、ALARM、RIBBONおよびPAPERランプが点灯または点滅します。点灯・点滅の状態エラーの発生箇所、原因がわかります。  
各ランプの点灯・点滅の状態は以下の通りです。

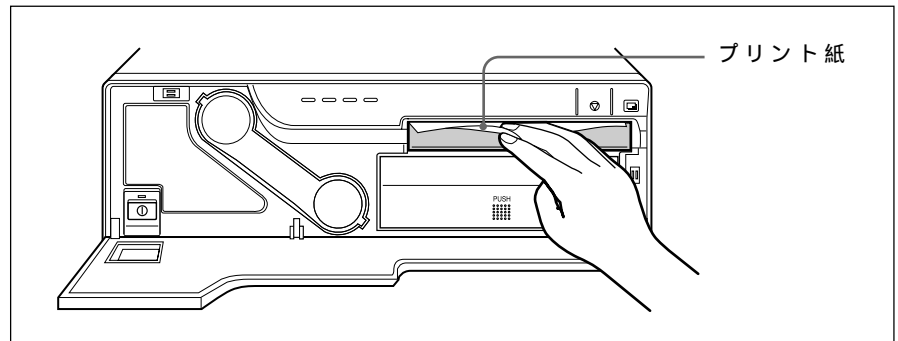
ランプ		原因と対策
点灯	点滅	
PRINT		プリント中
	PRINT	画像データを受信中
PRINT	ALARM	<ul style="list-style-type: none"><li>・ プリント中にストップした。 → プリント紙排出後点灯および点滅しているランプは消灯する。</li><li>・ 本機では使用できないプリント紙が取り付けられている。 → プリント紙が排出されたあと、正しいプリント紙を入れる。(28ページ)</li></ul>
RIBBON		<ul style="list-style-type: none"><li>・ インクリボンが終わりになった。 → 新しいインクリボンカートリッジを取り付ける。(23ページ)</li><li>・ インクリボンカートリッジが取り付けられていない。 → 取り付ける。(23ページ)</li></ul>
PAPER		<ul style="list-style-type: none"><li>・ プリント紙がない。 → プリント紙を入れる。(26ページ)</li><li>・ 給紙トレイが取り付けられていない。 → 取り付ける。(26ページ)</li></ul>
ALARM、PAPER		<p>間違った組み合わせのインクリボンカートリッジとプリント紙が取り付けられている。</p> <p>→ 正しい組み合わせで使用する。(28ページ)</p>
ALARM、RIBBON		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 不良状態のインクリボンカートリッジが取り付けられている。 → 正しいインクリボンカートリッジを取り付ける。(23ページ)</li><li>・ インクリボンが切れた。 → セロハンテープなどでつなげる。(26ページ)</li><li>・ 本機では使用できないインクリボンカートリッジが取り付けられている。 → 正しいインクリボンカートリッジを取り付ける。(28ページ)</li></ul>
ALARM		<p>プリンター内部で紙づまりが起きた。</p> <p>→ つまったプリント紙を取り除く。(59ページ)</p>
	ALARM	<p>上ぶたがあいている。</p> <p>→ 上ぶたを閉じる。</p>
PRINT、ALARM、PAPER、RIBBON		<p>サービス担当者を必要とするトラブルが起きた。</p> <p>→ これ以上使用できません。お買い上げ店またはお近くのソニーのご相談窓口にご連絡ください。</p>

## つまった紙を取り除く

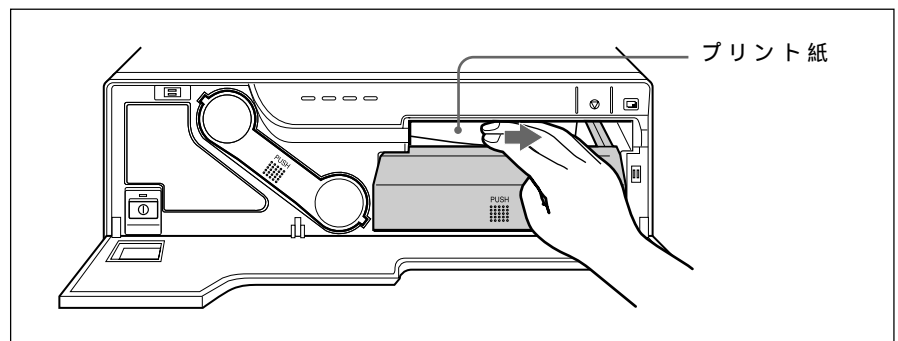
プリント動作中に紙づまりが起きたときは、ALARMランプが点灯します。紙がつまった箇所により操作が異なります。次のようにしてつまった紙を取り除いてください。

つまった紙が取れた場合はそこで作業を止め、そこまでに取り除いた排紙トレーや給紙トレーなどを取り付けてください。

- 1 フロントドアを開ける。
- 2 排紙トレーにプリント済みのプリント紙があるときは、取り出す。

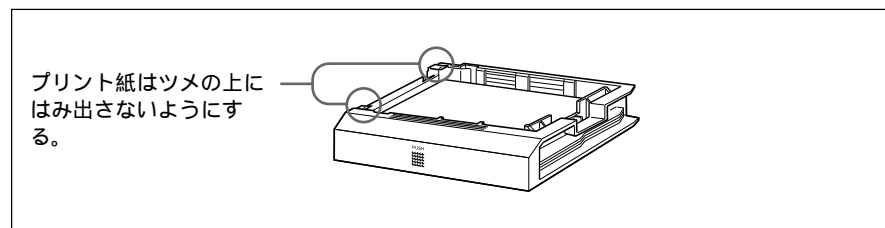


- 3 プリンターの電源を切る。
- 4 排紙トレーを取り出す。  
プリント紙が給紙口付近で見た場合は、手順5に進んでください。  
プリント紙が給紙口付近で見えない場合は、プリンター内部で紙がつまっています。  
手順8に進んでください。
- 5 紙を給紙トレーに戻す。  
取れない場合は、次に進んでください。



- 6 給紙トレーを取り出す。  
給紙口に紙がつまっていたら取り出します。

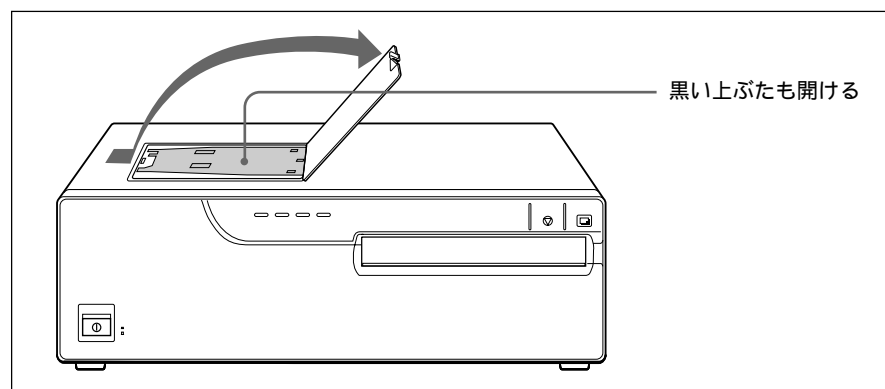
- 7** プリント紙を正しくセットする。  
手順6で戻したプリント用紙はご使用にならないでください。



- 8** インクリボンカートリッジを取り出す。  
プリント紙がつまっていたら取り出す。  
インクリボンカートリッジが取り出せない場合は、これ以上使用できません。  
お買い上げ店またはお近くのソニーのご相談窓口にご連絡ください。

つまっているプリント紙が見えない場合は、手順9に進んでください。

- 9** 白い上ぶたを開け、中の黒い上ぶたも開ける。  
内部に紙がつまっていたら取り出します。



つまったプリント紙が取り出せない場合は、これ以上使用できません。  
お買い上げ店またはお近くのソニーのご相談窓口にご連絡ください。

- 10** 排紙トレイ、給紙トレイ、インクリボンカートリッジなど取り外したものをすべて取り付け、  
上ぶた、中ぶた、フロントドアを閉める。

- 11** 電源を入れ直す。  
メモリーに記憶した画像は消えています。再度ステーションから画像を転送してください。

**ご注意**

プリント中は上ぶた、および中の黒い上ぶたは開けないでください。開けるときは必ずプリンターの電源を切ってください。

お問い合わせは  
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35  
ソニーマーケティング株式会社 情報システム営業本部 〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18

---

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan